

たかさき市民討議会 VOICE2017 実施報告書



平成 29 年 12 月

たかさき市民討議会 VOICE2017 実行委員会

はじめに

公益社団法人高崎青年会議所と高崎市市役所との共催により開催しました「たかさき市民討議会VOICE2017」が参加された市民の方々の活発な議論によって、本年も非常に貴重な機会となりましたことを心より御礼申し上げます。

本年で9年目を迎えた市民討議会ですが、テーマに関しては自分の故郷への思いが薄れていると感じる今日では、どうしたら自分の住んでいる地域の良さを知ることができるのか、魅力を知ることができるのか、そして伝えることができるようになるのか、自信を持って私の街の自慢が出来るようになってほしいことから『あなたの声から たかさき 咲カス』～育てよう、郷土愛の芽～とテーマを設け開催させていただきました。

また討議会運営自体も、なにか新たな動きをしていくべきではないかと考え、今までとは違う動きをさせていただきました。まずは討議の方法において例年とは違う形を取りました。討議1の情報提供では高崎クイズという方法を行い、高崎の文化・魅力を掘り起して参加者に提供させていただきました。高崎について改めて考えることが出来たのではないかと思いますし、新たな発見もあったのではないかと考えています。

また参加者の抽出方法に関しましても上限を設けることにしました。過去の参加者は50代・60代の方が多かったのですが、本年に関しましては20代から50代まで幅広い年代の参加者に来ていただくことができました。それにより各年代から様々な意見が生まれ、活発な討議へ結びついたのではないかと考えています。

これからもたかさき市民討議会を続けていく中で変化は必要なことだと考え、より良い討議会となるように工夫を続けていきます。

今も昔もまちを作ってきたのはそこに住む市民です。行政に任せきりにするまちづくりではなく、そこに住む市民ひとりひとりが自ら考え、行動していくことがより良い高崎の未来を創り上げていくのではないのでしょうか

最後に、本市民討議会の開催に当たり、参加された市民の皆様、そして関係各位のご理解ご協力に感謝を申し上げます。今後ともたかさき市民討議会をどうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

平成29年12月吉日

たかさき市民討議会VOICE2017実行委員会

実行委員長 富澤 太郎

実施報告書目次

はじめに	P 1
第 1 章 たかさき市民討議会 V O I C E 2 0 1 7 について	P 3
1-1 市民討議会とは	
1-2 実施目的	
1-3 実施概要	
1-4 開催までの流れ	
1-5 開催当日の流れ	
第 2 章 討議の結果とまとめ	P 7
討議 1 『咲かそう たかさき 郷土愛』	
討議 2 『みんなの声で 満開 たかさき』	
討議 3 『伝えてみよう。あなたの声で 高崎 咲カス』	
討議 4 『アクション高崎』	
第 3 章 当日アンケート結果	P 5 1
第 4 章 たかさき市民討議会 V O I C E 2 0 1 7 の検証と評価	P 6 5
4-1 検証と評価	
4-2 中間報告会	
おわりに	P 7 2
参考資料	P 7 3

第1章 たかさき市民討議会VOICE2017について

1-1 市民討議会とは

市民討議会とは、ドイツの学者ペーター・C・ディーネル博士が1970年代に考案した市民参加の手法「プラーヌクスツェレ」を参考に、日本で改良された新しい市民参加の手法です。

ディーネル博士はプラーヌクスツェレの定義を「無作為抽出で選ばれ、限られた期間、有償で、日々の労働から解放され、進行役のアシストを受けつつ、事前に与えられた解決可能な計画に関する課題に取り組む市民グループである。」としています。

無作為抽出という「きっかけ」づくりをすることで、行政に対して普段意見を言う機会が少ない市民が、自分の考えや意見を述べることができ、市民の知恵や経験、アイデア、感覚が行政の施策に反映される新しい民主主義のかたちとして位置付けられています。

市民の立場から言えば、行政に対し積極的な参加意識を持たない市民が、地域や社会の問題を話し合うことで、自分たちは何をすべきかを自ら考え、行動の意識付けをする「自立した市民」の形成につながるものです。

1-2 実施目的

高崎市では、高崎市市民参加推進計画（平成18年度策定）に基づき、市民の声を施策に生かすため、公募による市民会議や、パブリックコメントなど積極的に取り組んでいます。

しかし、これまでの市民参加の手法では、日頃から積極的に市政に参加している方からの意見が多く、市政に参加したことがない方からの意見は決して多いとはいえません。

本当の意味での市民参加とは、声を上げない多数の市民（サイレントマジョリティ）までもを取り込んだものでなくてはなりません。

そのため、これまでの市民参加の手法では汲み取ることはできなかった「声なき声」を聴くため、市民討議会という新たな手法を用い、真の市民参加を推進していくことが開催の目的であり、さらに市民討議会に参加した方々が、今後も市政に深い関心を持ち、声を上げていくことで、市民意識の醸成が図られ、住民自治による協働のまちづくりを推進する第一歩に繋がると考えております。

高崎市における市民討議会は、平成21年よりこれまで計8回、開催されております。開催を通じて、上記目的に対しこの手法が有用であると考えられ、本年も継続し開催することとなりました。

今年のたかさき市民討議会は、次の内容で行いました。

- ① 高崎にお住まいの市民の中から1200名を無作為抽出し参加案内を送付し、参加者を募った。
- ② 開催日を9月3日(日)とし、テーマごとに計4コマに分けた。

- ③ 『高崎の再発見から、これからの高崎を創造すること』を目的とした。
- ④ 討議内容を現状把握、過去、現在、未来へとつなげ、これからの高崎を創造する4つの小テーマを設定した。
- ⑤ 参加者は1テーブル6人に分かれ、情報提供を受けた上で、グループ内で意見を出し合い合意形成のうえ発表、さらに全体の意見から最も共感を得た意見に投票し、市民討議会全体としての合意形成を図った。

1-3 実施概要

今回、たかさき市民討議会VOICE2017の開催にあたっては、市民参加と協働のまちづくりをさらに進めるため、公益社団法人高崎青年会議所と高崎市とでパートナーシップ協定を締結し、共催で取り組みました。

- (1) 開催日 平成29年9月3日(日)
- (2) 開催場所 高崎市役所20階 研修室
- (3) 主催 たかさき市民討議会VOICE2017実行委員会
- (4) テーマ 『あなたの声から たかさき 咲カス』
～育てよう、郷土愛の芽～
- (5) 参加者 48名
※参加申し込み数 73名
(抽選落選者 18名 事前欠席連絡数 3名 当日欠席者 4名)

1-4 開催までの流れ

(1) テーマの選定

今回の大テーマは、大切にしたい文化を考え話し合うことは、郷土愛の育成と人を呼び込むきっかけとなりうることを背景に、『あなたの声から たかさき 咲カス』～育てよう、郷土愛の芽～と題し、「これからも伝えていくべき高崎の文化」、「これから高崎の文化になるものとは」をキーワードに、高崎の魅力に気づくとともに、未来の創造につながると考え選定しました。

高崎市の人口は、かつては市町村合併等により増加傾向にあったものの、近年は横ばいでの推移が続いており、今後はより少子高齢化が進み減少に転ずる見込みとなっています。そのような状況のなかで、より魅力的な高崎市となることについて、市民が主体となって話し合うことは、高崎を好きになる人、定住人口の増加にもつながっていくと考えました。また、高崎の魅力、文化など現状を確認し、今後の活用法や発信方法の討議を行い、これからの高崎を創造していくことを目的として4つの小テーマを設定しました。

メインテーマ 『あなたの声から たかさき 咲カス』

～育てよう、郷土愛の芽～

テーマ1 『咲かそう たかさき 郷土愛』

テーマ2 『みんなの声で 満開 たかさき』

テーマ3 『伝えてみよう。あなたの声で 高崎 咲カス』

テーマ4 『アクション高崎』

(2) 参加者の抽出・決定

住民基本台帳から18歳から59歳までの市民1200名を無作為に抽出し、市民協議会の参加依頼書及びチラシを送付しました。

参加申込をいただいた市民73名の中から抽選で55名を参加者として決定し、参加決定通知書を送付しました。その後、開催当日までに数人から欠席の連絡があり、参加者は48名となりました。

1-5 開催当日の流れ

討議は、4回実施しました。

参加者全員が個人の意見を発表しやすい環境を作るため、討議中は参加者同士があだ名で呼び合い、6名のグループで、グループごとに討議を行いました。また、グループ内で意見の偏りが発生することを防ぐため、各討議終了後にグループメンバーを入れ替え、メンバー決めはランダムになるよう「くじ引き」で決定しました。

各グループでは進行役、書記、発表者の役割を決め討議を開始しました。

討議の進め方は原則として、情報提供 ⇒ 自己紹介 ⇒ ブレインストーミング ⇒ グループ討議（意見のまとめ）⇒ 全体発表 ⇒ 投票 の流れで実施しました。ただし、討議1に関しては各個人の意見抽出と共有を目的としたため投票は行わず、討議4に関しては、市民、個人から出来ることの発想、意識付けが目的のため情報提供は行いませんでした。

討議1 『咲かそう たかさき 郷土愛』

討議2 『みんなの声で 満開 たかさき』

討議3 『伝えてみよう。あなたの声で 高崎 咲カス』

討議4 『アクション高崎』

(1) 情報提供

テーマに関連する基礎知識や現在の取り組み、流れなどを参加者にレクチャーしました。情報提供者は討議の方向性に影響を与えないように公平な情報を提供するように心掛けました。

（２）自己紹介

討議を行う前に、テーブルごとにメンバー同士の簡単な自己紹介を行いました。

（３）ブレインストーミング

テーマについて思いついたアイデアを順番に発言していきます。発言した内容は書記役が付箋に書き出します。

〔ブレインストーミングに際して留意していただいたこと〕

- ① 難しく考えず、思いついたアイデアをたくさん出すこと。
- ② 実現可能か考えず、自由に発想すること。
- ③ 他人の意見を批判しないこと。
- ④ 他人の意見から連想すること、また他人の意見に付け加えて意見を出してもよいこと。

（４）グループ討議（合意形成）

討議シートに貼られた付箋をもとに、それぞれの意見についてグループ内で討議をし、似通った意見や共通の意見をまとめました。また、新しい意見は付箋カードに書き加えました。ある程度の意見がまとまったら特に採用したい意見を討議シートの意見のまとめ欄に記入しました。

〔グループ討議に際して留意していただいた事項〕

- ① 他人の意見を批判することが目的ではなく、討議素材を付け加えることが目的であること。
- ② 出た意見の意味や発言の背景をはっきりさせることも目的であること。
- ③ 人の意見を聞いて自分の意見を変えても構わないこと。

（５）発表

あらかじめ決められた発表者がグループ内の意見を取りまとめ発表しました。実際に討議に使用した討議シートを前方に貼りだし、参加者全員にわかるように合意形成の流れと、その結果導き出された特に採用したい意見を発表しました。

（６）投票

全体発表の終了後、各グループの討議シートを会場内に掲示し各個人の投票に移りました。参加者は１人３票を持ち、発表された全意見の中から特に共感した３件に投票しました。投票はグループ毎に順番に行いました。

第2章 討議の結果とまとめ

「たかさき市民討議会VOICE2017」では、A～Hグループ（8グループ）に分かれ、テーマごとに討議を1回行ない、計4回の討議を行いました。

【討議1】では「高崎クイズ」に加え、「高崎の魅力、文化、歴史、スポット」について共有し、改めて考えることを目的とし、【討議2】では、これからの高崎を代表するものを考え、対象の絞り込みを行いました。

【討議3】では【討議1・2】を踏まえ、行政への提案についてアイデアを出し合い、【討議4】では、行政への提案とは別に、市民が出来るアクションとは何があるのかについて討議を行いました。

討議スケジュール

8:30	開場・受付開始
9:00	開会 オリエンテーション、スタッフ紹介、ルール説明
9:20	アイスブレイク、自己紹介
9:35	高崎クイズ(45分) ※討議1での情報提供とする
10:20	休憩
10:30	討議1(50分) 『咲かそう たかさき 郷土愛』
11:20	休憩(昼食)
12:20	討議2(60分) 『みんなの声で 満開 たかさき』
13:20	投票、席替え
13:30	休憩
13:40	討議3(60分) 『伝えてみよう。あなたの声で 高崎 咲カス』
14:40	投票、席替え
14:50	休憩
15:00	討議4(60分) 『アクション高崎』
16:00	投票
16:10	まとめ、アナウンス
16:30	閉会

【討議 1】 『咲かそう たかさき 郷土愛』

＜討議の目的＞

参加者が、高崎で連想するスポットや特徴、好きなところについて話し合い、共有することを目的に討議を行いました。

＜情報提供の内容＞

専門家から聞き取りを行い作成した「高崎クイズ」により、独自の文化、歴史、物語を紹介しました。また、その背景などを伝えることによって新たな意見を促し、参加者自身が考える大切にしたい文化などを発言するきっかけ作りを行いました。

＜討議結果の考察＞

【討議 1】では高崎のスポット、文化、歴史について参加者で共有することが目的のため、各グループの発表のみを行い投票は行いませんでした。

文化や歴史、特徴を「高崎クイズ」により参加者へ伝え、高崎の優れている点を共有してもらうところから討議へ臨んでいただきました。

討議の結果からは、文化や歴史に関するものが多く見受けられ、その見どころや歴史が知られていないことを残念とする意見がありました。また、高崎の良さとして「住みやすさ」、「利点」の他、「食べ物がおいしい」、「特産物」といった食に関するもの、「映画祭」などの文化イベントを評価する意見も上がっています。

郷土に誇りを持つには、まず知ることが重要という認識ではおおよそ共通していますが、それらをもっと前面に発信していく必要性を感じさせる結果となっています。高崎を好きになる人が増えるには、日常で触れる機会のない隠れた魅力をどのように伝えていくかが今後の課題とも言えます。

※意見詳細は、ワークシートをご参照ください。

高崎クイズ解説

■第1問 高崎市の人口は？

(正解)約375,000人

(解説)平成29年7月31日現在 374,658人。市町村合併前の旧高崎市の人口は約245,000人で、平成18年に倉渕・箕郷・群馬・新町・榛名地域と合併し約321,800人、平成21年には吉井地区と合併し約373,900人になりました。また、近隣市町村の人口ではありますが、前橋市は約338,300人、桐生市は約114,300人、伊勢崎市は約212,400人、太田市は224,000人となっています。

■第2問 1595年「高崎」という地名の由来に関わった歴史上の人物とは？

(正解)井伊 直政

(解説)慶長3年(1598年)、井伊直政は箕輪城から築城中の高崎城に入場した際、この地を松ヶ崎という地名に改めようと思い、箕輪の龍門寺の住職白庵に相談しました。白庵住職は「諸木には栄枯があり、物には盛衰がある為、『成功高大』の意味を探って高崎と名付ければ」と進言し、直政は和田から高崎という地名に改めました。

■第3問 全国42中核市(人口30万人以上)の中で高崎市の幸福度ランキングは何位でしょう？

(正解)3位

(解説)日本総合研究所(東京都)分析した「中核市幸福度ランキング2016年版」で、豊田市が1位、長野市が2位、高崎市が3位で前橋市は8位となりました。ランキングは、人口増加率や財政健全度、出生率などの基本指標に加え、健康、仕事、文化、生活、教育の五分野の計39指標の分析を行いました。そのうち、待機児童率の低さで1位、NPO認証数も1位、大学進学率8位、生活保護受給率6位でした。

■第4問 榛名神社に伝わる伝説とは？

(正解)天狗伝説

(解説)榛名には、天狗伝説があります。富士山にあこがれた榛名天狗が、一晩のうちに富士山より高い山を造ると宣言したものの、完成する前に夜が明けてしまい、流した悔し涙が榛名湖になり、榛名富士は、形は似ても高さは富士山に及ばなかったというものです。現在は、年が変わる大晦日から元旦にかけて「天狗祭り」が行われます。同神社の神職だけで行われる神秘行事の後、榛名山中の平穏無事を願い天狗餅108個を社殿から庭に投げます。この餅を拾うとその年は無事で過ごせるといわれるため、毎年多くの人が懐中電灯を片手に訪れています。

■第5問 音楽センターを設計した有名な建築家の名前は？

(正解)アントニン・レーモンド

(解説)チェコ生まれの近代建築家。1919年(大正8年)旧帝国ホテル設計監理のため、フランク・ロイド・ライトにと共に来日。その後、太平洋戦争中を除く40年余りを日本で過ごしました。東京女子大学、群馬音楽センター、南山大学などが代表作。日本におけるモダニズム建築の先駆者として知られています。

■第6問 高崎で初めての Pasta 店は「シャンゴ」ですが、1号店は何町にあったでしょう？

(正解) 請地町

(解説) 高崎で Pasta が根付いたきっかけは、請地町にイタリア料理店「シャンゴ」を故関崎省一郎さん(2011年8月逝去)が開店した、1968年(昭和43年)に遡ります。当時、高崎市内で Pasta 専門店を開いていたのは、同店の他に一軒だけであったといわれています。高崎の Pasta は量が多いといわれますが、これは戦中戦後の食糧難を経験した関崎さんに「美味しいものをたらふく食べてほしい」という切なる願いがあり、通常1人前80～100gのところ、120～130gのスパゲッティを用いました。

■第7問 高崎はだるまの製造で有名ですが、高崎だるまの一番の特徴は？

(正解) 顔の横に金文字が入る

(解説) 形全体が丸みを帯びて、ふくよかな感じのする高崎だるま。その特徴は、眉毛は鶴、髭は亀を表現しています。日本では「鶴は千年、亀は万年」と言われ、吉祥・長寿の動物に例えられます。お腹には「福入」、両肩には「家内安全、商売繁盛、大願成就、目標達成」などの願いを込めて金文字が書かれています。文字が書かれているだるまは全国的に見ても珍しいものです。

■第8問 高崎は、あるものが日本一です。あるものとは何でしょうか？

(正解) 山車の保有数

(解説) 高崎まつり最大の特徴は38台という山車の数で、これだけの台数をもっている地域はありません。しかし、現在では38台すべての山車が高崎まつりで巡行することはありません。ただ、平成22年に市制110周年記念として全町内会に山車の参加要請があり山車38台が巡行しました。

■第9問 観音山は、高崎観音ができる前から観音山と呼ばれていた。○か×か？

(正解) ○

(解説) 坂上田村麻呂が征夷大將軍として東北に向かうとき、部下の鎮魂のために京都の清水寺を高崎の山に分けて観音さまを祀ったことから観音山と呼ばれるようになりました。800年頃の話です。大きい観音様が目立っていますが、もともとは清水寺(せいすいじ)がありました。

■第10問 2016年(平成28年)に国際かんがい施設遺産に登録された用水路の名前は？

(正解) 長野堰

(解説) 長野堰は約千百年前に、平城天皇(へいぜいてんのう)・阿保親王(あぼしんのう)・在原業平(ありわらのなりひら)を祖とする上野国守の長野康業により開削され、室町時代の長野信濃守業正(ながのなりまさ)が今の長野堰の原形に整備したと伝えられています。国際かんがい排水委員会(ICID)は、平成28年11月8日タイ王国チェンマイで開催の第67回ICID国際執行理事会において、日本国内では長野堰用水を含む14施設を平成28年度世界かんがい施設遺産に登録したことを発表しました。関東地方では、本件甘楽町の雄川堰に続き2例目の登録となります。

■第11問 観音山丘陵にあり、山田徳蔵が私財を投じ50年かけて作ったのは次のうちどれでしょう？

(正解)洞窟観音

(解説)故山田徳蔵翁によって大正8年着工され、昭和39年、翁が88才の生涯を閉じる迄の50年間たゆむことなく工事が進められ完成しました。動力や土木機械のない時代に、つるはしやスコップなど全て人力で山を抜き、谷を埋め、池を掘り、石を運び、それはあたかも築城の大仕事にも似た壮大なドラマでした。

■第12問 縁起たるまで有名な少林山達磨寺ですが、ドイツで世界遺産を設計したブルーノ・タウトが住んでいたことを題材に脚本を書いた映画監督の名は？

(正解)黒澤 明

(解説)『達磨寺のドイツ人』という脚本です。しかし、残念ながら映像化はされていません。

世界遺産には、1924年から1929年に建築された3つの建築群がベルリンのモダニズム集合住宅群として登録されています。

■第13問 日本列島東部の古代上野国(現在の群馬県)に存在する三つの石碑、上野三碑とは金井沢碑、山上碑、あともう一つは？

(正解)多胡碑

(解説)多胡碑は、和銅4(711)年に多胡郡(現在の吉井町と山名町を中心とする地域)が設置されたことを記念して建てられた石碑で、栃木県大田原市にある那須国造碑と宮城県多賀城市にある多賀城碑とともに日本三古碑と呼ばれています。また、同じ古代の多胡郡域にある山上碑(681年)と金井沢碑(726年)とあわせて上野三碑とも呼ばれています。多胡碑は、吉井町南部で採れる牛伏砂岩を加工してつくられていて、笠石・碑身・台石から構成されています。碑文は6行にわたって80文字が楷書体で刻まれています。

■第14問 かつ井で有名な栄寿亭は、一日何食のかつ井が売れるでしょう？

(正解)300～400食

(解説)栄寿亭は1919(大正8)年、同地で創業しました。現在の店主、若林さんは4代目。同店はカツ井だけで1日300から400食の利用があるため、朝5時30分から仕込みを始めないと間に合いません。閉店後も午前0時まで翌日の仕込みと、店を開けています。営業時間より仕込みの時間の方が長いほどです。カツ井はたれ醤油、砂糖、味醂をつかい甘めに仕上げています。配合は秘密です。肉は太田市の生産者から直接仕入れる上州もち豚のモモ、米はこしひかり100%を使用しています。

<討議結果のまとめ>

討議1「咲かそう 高崎 郷土愛」

★高崎にはどんなスポット、文化、歴史がありますか？

分類	意見のまとめ	班
自然	榛名神社:癒しスポット マイナスイオン 心洗われる	A
食	おいしい食べ物(パスタ・ソースカツ丼)	D
	食べ物がうまい	E
	パスタ	F
スポット	山田かまち美術館	A
	倉渕英語村:小さいころから集まって意見が言える場として	A
	既存施設の認知と活用と建設	B
	見どころが多い(長野堰・箕輪城・洞窟観音・観音山・白衣観音・榛名湖・榛名神社)	D
	美術館、工場など見学・体験型が出来る場所が多い	H
	榛名山	F
文化	高崎映画祭の開催と映画・ドラマロケ地の勧誘に積極的	B
	イベントが多い(だるま市・映画祭)	D
	文化が豊か(交流・歴史・遺産)	E
	歴史的・文化的な”たからもの”がたくさんある。もっと前面に発信(山車をおまつり以外で見たい)	G
	だるま	F
歴史	灯台下暗し(高崎には素晴らしいものがたくさんある。知らないことはもったいない)	G
	神社(宿場)が多い、歴史があるのに知られていないのが残念	H
	歴史を自転車(高チャリ)等でまわる	C
その他	有名な企業・工場があり、企業の誘致につなげる	B
	スポットをまとめて、コースで提案していく(スタンプラリー等)	C
	発信できるネーミングを作成する	C
	知ること、実際に訪れてみる(食べ物なら味わう)	G
	公園が多く住みやすい	H
	住みやすい	E

討議1「咲かそう 高崎 郷土愛」

★高崎にはどんなスポット、文化、歴史がありますか？

グループ

A

メンバー

☆なっちゃん・まあちゃん・げんさん・きーちゃん・ぴさん・あんさん

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

食

シャンゴ

里見の梨

交通

高崎駅

上信電鉄

文化・レジャー

洞窟観音

榛名神社

高崎まつり

花火

山車

イベント

観音様

少林山達磨寺

仏画

山田かまち

地域

倉渚英語村

吉井町 多比良

ホタル

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- ◇ 山田かまち美術館
- ◇ 榛名神社：癒しスポット マイナスイオン 心洗われる
- ◇ 倉渚英語村：小さいころから集まって意見が言える場として

たかさき市民討議会VOICE2017

討議1「咲かそう 高崎 郷土愛」

★高崎にはどんなスポット、文化、歴史がありますか？

グループ	B	メンバー ☆ちーちゃん・そら君・花ちゃん・ビジー・じゅんちゃん・アイアン
------	---	---

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

食 日高米:かつては殿様の献上品 焼きまんじゅう:あんこ入り	スポーツ 高崎アリーナ ソフトボール
仕事 ケロッグ・バリーカレボー 有名工場 ハーゲンダッツ・ドンレミ・ハラダ ヤマダ電機・ビックカメラ 企業 企業誘致	映画 朝ドラ ロケ地 高崎映画祭
文化・レジャー 群馬の森 城址公園 多胡碑 高崎城 ファミリーパーク 観覧車 図書館 高崎だるま	

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- ◇ 有名な企業・工場があり、企業の誘致につなげる
- ◇ 既存施設の認知と活用と建設
- ◇ 高崎映画祭の開催と映画・ドラマロケ地の勧誘に積極的

たかさき市民討議会VOICE2017

討議1「咲かそう 高崎 郷土愛」

★高崎にはどんなスポット、文化、歴史がありますか？

グループ

C

メンバー

☆たまちゃん・埜田・きち・グルー・ひらんさん・桐生

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

場所	
交通網	災害が少ない
バックアップ	住みやすい
生活の軸	コピーライター

外に向けて	
高崎まつり	万灯会
洞窟観音	イベントが多い
パワースポット	パスタ
世界遺産	

歴史	
箕輪城	ホタルの里
山車	ホタルまつり
はにわの里	前方後円墳

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- ◇ スポットをまとめて、コースで提案していく(スタンプラリー等)
- ◇ 歴史を自転車(高チャリ)等でまわる
- ◇ 発信できるネーミングを作成する

たかさき市民討議会VOICE2017

討議1「咲かそう 高崎 郷土愛」

★高崎にはどんなスポット、文化、歴史がありますか？

グループ

D

メンバー

☆双子弟・双子兄・グレー・ピアニスト・ママ・さくら

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

文化	
歴史の中心	馬庭念流
映画祭	イベントが多い
少林山だるま市	

食	
パスタ	ソースかつ丼
榛名の梅	箕郷の梅

観光	
榛名湖	榛名神社
長野堰	箕輪城
洞窟観音	観音山
見どころが多い	白衣観音

子育て	
ファミリーパーク	ファミリーパーク
観音山公園	ケルナー広場
公園	桜

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- ◇ 見どころが多い(長野堰・箕輪城・洞窟観音・観音山・白衣観音・榛名湖・榛名神社)
- ◇ イベントが多い(だるま市・映画祭)
- ◇ おいしい食べ物(パスタ・ソースかつ丼)

たかさき市民討議会VOICE2017

討議1「咲かそう 高崎 郷土愛」

★高崎にはどんなスポット、文化、歴史がありますか？

グループ	E	メンバー ☆ネギ・くわちゃん・ライト・シリキ・GAN・パイン
------	---	-----------------------------------

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

スポーツ	食
ソフトボール 公園	食文化 和食
ニューイヤーマン プール	パスタ
住	文化
美容室が多い 桜	音楽 高崎神社
歯医者が多い 市庁舎	音楽 榛名山
和田橋グラウンド	古墳
高崎駅	高崎城
新幹線	学校が多い
高チャリ	ロケ地
OPA	

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- ◇ 文化が豊か(交流・歴史・遺産)
- ◇ 住みやすい
- ◇ 食べ物がうまい

たかさき市民討議会VOICE2017

討議1「咲かそう 高崎 郷土愛」

★高崎にはどんなスポット、文化、歴史がありますか？

グループ

F

メンバー

☆ふくちゃん・十字くん・ゼブラ・すまいるさん・横しまくん・くろちゃん

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

観光・景観	
花火	万灯会
高チャリ	総理大臣
ヤマダ電機	ビックカメラ
宿場町	市役所の展望
倉賀野宿	烏川の土手
高崎市美術館	牛臥山
上毛三山	国分寺
群馬の森	ファミリーパーク
吉井物産センター	上信電鉄
図書館	高崎駅

文化	
だるま	前橋との競争
交通の要衝	うどん
馬庭念流	カイコ
パスタ	

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- ◇ だるま
- ◇ 榛名山
- ◇ パスタ

たかさき市民討議会VOICE2017

討議1「咲かそう 高崎 郷土愛」

★高崎にはどんなスポット、文化、歴史がありますか？

グループ

G

メンバー

☆おとみさん・メロンちゃん・ちょこ・みーちゃん
・ひろむくん・がっちゃん

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

音楽センター

思い出の場所 入学式
卒業式 成人式

観光

白衣観音 万葉集
木製の橋(車両通行不可)
佐野橋(船をつないで作った橋)

文化

美術館 博物館
山車文化 群響
ここに泉あり

食

ソースかつ丼 焼きまんじゅう
おっきりこみ みそこんにゃく

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- ◇ 灯台下暗し(高崎には素晴らしいものがたくさんある。知らないことはもったいない)
- ◇ 知ること、実際に訪れてみること(食べ物なら味わう)
- ◇ 歴史的・文化的な”たからもの”がたくさんある。もっと前面に発信(山車をお祭り以外で見たい)

たかさき市民討議会VOICE2017

討議1「咲かそう 高崎 郷土愛」

★高崎にはどんなスポット、文化、歴史がありますか？

グループ

H

メンバー

☆ロクバン・カオリン・シーチャン・バーチャン・パパ・ママ

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

	神社	
	進雄神社	護国神社
観光	歴史・文化	
	山田かまち美術館	公園が多い
	倉賀野・宿場町・古墳	
	八千代・天皇巡幸・戦前の歴史	
	歴史スポットの解説者を育成	
	その他	
	コンビニにトイレがついている	
	高崎はずっと住みたいところ	

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- ◇ 神社(宿場)が多い、歴史があるのに知られていないのが残念
- ◇ 美術館、工場など見学・体験型が出来る場所が多い
- ◇ 公園が多く住みやすい

たかさき市民討議会VOICE2017

【討議２】 『みんなの声で 満開 たかさき』

＜討議の目的＞

「高崎クイズ」、【討議１】の内容を踏まえ、これから高崎を代表するスポットや文化となっていくものは何か、どのようなものが考えられるのか、対象の絞り込みと、最終的なビジョンを目的に討議を行いました。

＜情報提供の内容＞

最近になりメディアでも取り上げられるようになった「パスタの街 高崎」について、なぜパスタというキーワードが高崎に根づき、市民に愛されるようになったのか、始まりと注目されるきっかけを紹介することで、討議対象の背景にも踏み込んだ考察となるように情報提供を行いました。

＜第一次投票後に追加された情報提供＞

高崎アリーナ、高崎芸術文化センター（仮称）の施設概要

高崎マーチングフェスティバル、森とオーケストラ、おとまちプロジェクト、高崎音楽祭のイベント概要

＜討議結果の考察＞

これからの高崎を代表するスポットや文化になっていくものについて、対象の絞り込みを討議していただいたところ、「高崎アリーナ」を拠点とした「音楽イベント」や「食のイベント」、「文化巡り」が挙げられました。高崎アリーナについては新規施設という話題性から注目されていると思われ、またこれまでの「群馬交響楽団」、「音楽センター」など高崎と音楽の密接な関わり、食に対する自信が浸透していることから今回の提案につながったと考えられます。文化については、魅力が多岐にわたるため、あえて１つに絞らずコースでそれぞれを周るといった意見がありました。

特徴的な意見では、榛名地区・くだもの街道（フルーツ街道）を活かした企画などがありました。いずれも既存のスポット、文化を活用した意見であり、高崎の潜在する魅力、発展度について参加者は理解していることが伺えます。

【討議２】では発表、投票の結果、３班の得票数を合わせて「高崎アリーナ」の活用が選ばれましたが、参加者より高崎アリーナの概要が不明瞭との意見があり、新たな情報提供を行い、挙手による決戦投票から、「音楽」にちなんだ誇りを持てるような企画や手法により高崎を盛り上げていくという意見が多くのご共感を得ることとなりました。

※意見詳細は、ワークシートをご参照ください。

<討議結果のまとめ>

討議2「みんなの声で 満開 高崎」

★これから高崎を代表するスポット、文化は何ですか？また、どのようなビジョンが考えられますか？

順位	票数	意見のまとめ	班
第一位	53票	高崎アリーナ（※3班合同の得票数による）	C・D・G
第二位	28票	音楽祭・群響・ツール（※再投票により最終的に選出された意見です）	H
第三位	25票	果物街道・梅林を活かした企画	B
分類		意見のまとめ	班
交通		交通の便を活かし、通過点にせず中間点として活かす	A
		交通の整備・イベントだけぐるりんを出す	A
音楽		マーチングの全国大会を開く	G
		色々な音楽のフェスを開く	G
		有名ミュージシャンのライブを行う	G
イベント		季節に応じて開催する（果物の旬）	B
		参加賞として特産品でふるまう	B
		他県（特に南関東）から人を呼べるイベント（毎月）	D
		アリーナで祭り（どろんこ祭り）	D
		音楽祭にパスタ祭り、バル祭り、山車	E
		都内よりコスパが高い（チケット等）	H
開発		開発予定のスポットを盛り上げる	F
		大きなイベント（国際試合・ガールズイベント・コミケ等）ができるドーム型スタジアムが欲しい	F
		アリーナと高崎駅間の開発（シャトルを廃止して徒歩での移動）	D
		既存のスポットを盛り上げる（露店OKにする等）	F
		高崎駅西口からストリートの活用	E
食		「高崎アリーナ」に来てパスタを食べよう！	C
		音楽を聴いた後の食べ歩き	H
		ラスク	A
観光		ツアーの中に工場見学	B
		「高崎アリーナ」に来ると色々なことが経験できる！	C
		「高崎アリーナ」に来てパワースポットへ行こう！	C
		翌日の歴史観光（交通手段の充実）	H

討議2「みんなの声で 満開 高崎」

★これから高崎を代表するスポット、文化は何ですか？また、どのようなビジョンが考えられますか？

グループ **A**

メンバー
☆花ちゃん・シーチャン・ライト・ひろむくん・十字くん・あん

14

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

観光資源	
だるま	白衣観音
観覧車	焼きまんじゅう
神社	ラスク

課題	
新幹線	公共交通整備
ぐるりん	ちんちん電車



提案	
SAをつくる	地場野菜
交通	コース観光

意見のまとめ【これからの高崎のスポット、文化を1つ絞りましょう】

コースで高崎の文化・食・伝統にふれる

【ビジョンについて意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- ◇ 交通の便を活かし、通過点にせず中間点として活かす
- ◇ 個別にPRをする(ラスク、カラーだるまの意味などをアピール)
- ◇ 交通の整備

たかさき市民討議会VOICE2017

※「メンバー表」右下の数字は投票の獲得数となります。

討議2「みんなの声で 満開 高崎」

★これから高崎を代表するスポット、文化は何ですか？また、どのようなビジョンが考えられますか？

グループ **B**

メンバー

☆メロンちゃん・双子兄・アイアン・さくら・なっちゃん・おとみさん

25

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

資源	
ブルーベリー	梨
桃	ブドウ
果物街道	梅
ハルヒル(榛名山ヒルクライム)	工場
ハーゲンダッツ	ハラダ

文化	
音楽	うどん(水沢)
群響	街中コンサート
AEON	OPA

意見のまとめ【これからの高崎のスポット、文化を1つ絞りましょう】

果物街道・梅林を活かした企画

【ビジョンについて意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- ◇ 季節に応じて開催する(果物の旬や梅の生産高などをもっとPRする)
- ◇ ツアーの中に工場見学
- ◇ 参加賞として特産品でふるまう

たかさき市民討議会VOICE2017

※「メンバー表」右下の数字は投票の獲得数となります。

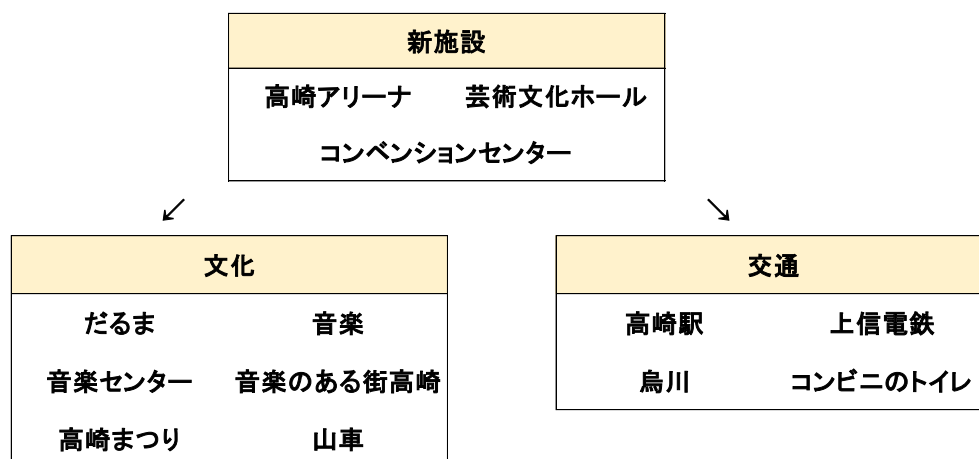
討議2「みんなの声で 満開 高崎」

★これから高崎を代表するスポット、文化は何ですか？また、どのようなビジョンが考えられますか？

グループ C	メンバー ☆げんさん・横しま・ちーちゃん・双子弟・みーちゃん・埜田
------------------	--------------------------------------

16

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】



意見のまとめ【これからの高崎のスポット、文化を1つ絞りましょう】

「高崎アリーナ」を中心とした街づくり

【ビジョンについて意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- ◇ 「高崎アリーナ」に来ると色々なことが経験できる！
- ◇ 「高崎アリーナ」に来てパスタを食べよう！
- ◇ 「高崎アリーナ」に来てパワースポットへ行こう！（住んでいる街のスポットを知ってもらう）

たかさき市民討議会VOICE2017

※「メンバー表」右下の数字は投票の獲得数となります。

討議2「みんなの声で 満開 高崎」

★これから高崎を代表するスポット、文化は何ですか？また、どのようなビジョンが考えられますか？

グループ **D**

メンバー

☆シリキ・きーちゃん・がっちゃん・くろちゃん・じゅんちゃん・パイン

15

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

施設	
高崎アリーナ	芸術文化ホール
高崎駅	OPA

文化・地域	
高崎だるま	神社仏閣
どろんこ祭り	高崎まつり
だるま市	山間部
コンサート	留学

交流・定住
南関東から人を呼ぶ
首都圏から住民を呼びこむ

意見のまとめ【これからの高崎のスポット、文化を1つ絞りましょう】

高崎アリーナ

【ビジョンについて意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- ◇ 他県（特に南関東）から人を呼べるイベント（毎月）
- ◇ アリーナで祭り（どろんこ祭り）
- ◇ アリーナと高崎駅の間の開発（シャトルを廃止して徒歩での移動）

たかさき市民討議会VOICE2017

※「メンバー表」右下の数字は投票の獲得数となります。

討議2「みんなの声で 満開 高崎」

★これから高崎を代表するスポット、文化は何ですか？また、どのようなビジョンが考えられますか？

グループ **E**

メンバー
☆ピアニスト・たま・まあちゃん・ブルー・GAN・ばあちゃん

13

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

スポーツ	
高崎アリーナ	ソフトボール
ペガサス	駅伝
自転車	マラソン
山	アウトドア

その他
ぐるりんバス→観光巡回イベント
イベントがたくさんある

音楽	
もてなし広場	布袋
TAGOスタジオ	ライブハウス
音楽の街	まつり

文化	
歴史の維持	榛名神社
観光スポット	白衣観音
ケルナー広場	カップピア
山車	高崎まつり
映画祭	

意見のまとめ【これからの高崎のスポット、文化を1つ絞りましょう】

イベント(音楽+α)を開催する

【ビジョンについて意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- ◇ 高崎駅西口からストリートの活用
- ◇ 音楽祭に Pasta祭り、バル祭り、山車(全国に誇れる内容のイベント)
- ◇ イベント時だけぐるりんバスを出す

たかさき市民討議会VOICE2017

※「メンバー表」右下の数字は投票の獲得数となります。

討議2「みんなの声で 満開 高崎」

★これから高崎を代表するスポット、文化は何ですか？また、どのようなビジョンが考えられますか？

グループ
F

メンバー
☆ビジー・かおりん・ろくばん・ぴさん・桐生・そら

10

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

高崎駅周辺の再開発及び活性化

公園が多いので出店をOKに(地元商店)

観音山周辺を充実

大きなスタジアム(サッカー・ライブ)

縄文文化高崎

スポーツ(参加・観戦)の活性化

意見のまとめ【これからの高崎のスポット、文化を1つ絞りましょう】

現存(公園・観音山)や開発予定(OPA)を盛り上げる

【ビジョンについて意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- ◇ 既存のスポットを盛り上げる(露店OKにする等)
- ◇ 開発予定のスポットを盛り上げる(誇れるようなものやイベントから郷土愛が生まれる)
- ◇ 大きなイベント(国際試合・ガールズイベント・コミケ等)ができるドーム型スタジアムが欲しい

たかさき市民討議会VOICE2017

※「メンバー表」右下の数字は投票の獲得数となります。

討議2「みんなの声で 満開 高崎」

★これから高崎を代表するスポット、文化は何ですか？また、どのようなビジョンが考えられますか？

グループ

G

メンバー

☆ネギ・ママ・スマイル・くわ・ゼブラ・グレー

22

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

観光	
少林山	ブルーノタウト
新高崎	ハラダ
商業施設	榛名湖
市庁舎	バスタ
ヤマダ電機	高崎城跡
榛名神社	世界遺産

音楽	
パレード	マーチング
音楽センター	高崎アリーナ
音楽の街	

意見のまとめ【これからの高崎のスポット、文化を1つ絞りましょう】

高崎アリーナ

【ビジョンについて意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- ◇ マーチングの全国大会を開く ↘
- ◇ 色々な音楽のフェスを開く → 音楽の街(他地域との差別化を図ったものを)
- ◇ 有名ミュージシャンのライブを行う ↗

たかさき市民討議会VOICE2017

※「メンバー表」右下の数字は投票の獲得数となります。

討議2「みんなの声で 満開 高崎」

★これから高崎を代表するスポット、文化は何ですか？また、どのようなビジョンが考えられますか？

グループ	H	メンバー ☆ふく・パパ・きち・ちょこ・ひらんさん・まま
------	---	--------------------------------

28

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

観光	歴史・文化
少林山達磨寺	群響
佐野橋	マーチング
白衣観音	音楽祭
榛名山	多胡碑
洞窟観音	高崎まつり
美術館	高崎だるま
市庁舎(夕景)	古墳
温泉	
梨・桃・梅	
ビジネスホテル	

その他	食
フットワークの軽さ(商業)とやる気	パスタ
住みやすさ	洋食
	イタリアン
	スペイン
	唐揚げ
	高崎バル

意見のまとめ【これからの高崎のスポット、文化を1つ絞りましょう】

音楽祭・群馬交響楽団・ツール

【ビジョンについて意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- ◇ 都内よりコスパが高い(チケット等)
- ◇ 音楽を聴いた後の食べ歩き
- ◇ 翌日の歴史観光(交通手段の充実)

たかさき市民討議会VOICE2017

※「メンバー表」右下の数字は投票の獲得数となります。

【討議３】 『伝えてみよう。あなたの声で 高崎 咲カス』

<討議の目的>

【討議２】では、これまでの高崎と音楽の密接な関わりが浸透していることもあり、「音楽」を主体とした企画や手法により高崎を盛り上げていくという結果が投票により導かれました。ここでは行政に具体的な企画、手法を提案するという目的のため討議を行いました。

<情報提供の内容>

【討議２】の情報提供では、パスタが市民権を得る過程をお伝えしましたが、引き続き「パスタの街 高崎」が対外的な注目を集め、知られていくきっかけにもなった企画「キングオブパスタ」の生まれた流れについて紹介し、企画と手法についての情報提供を行いました。

<討議結果の考察>

行政への提案として全体投票の結果、「高崎の名所で音楽フェスをする（プロジェクションマッピング）」と「マーチングと群馬交響楽団でコラボを」が同得票数で一位となりました。第三位には、「マーチングフェスティバルと東京ディズニーリゾート・スペシャルパレードのコラボレーションを」といった、特色がありながらも実現の可能性を感じる意見が選ばれました。

また、SNSの活用や音楽の街を印象付けるモニュメント制作、ボランティア募集の回数を増やすなど広報面での提案から、頼政太鼓や山車のお囃子のイベント開催、食のイベントと音楽イベントの共催、音楽学校の創設など多岐にわたり活発な討議が行われました。

注目する点として行政依存のアイデアとなりがちな例年と比較すると、既存のものをより良くしようとする提案が多く、市民と行政の提携を目指した前向きな意見が挙がりました。

※意見詳細は、ワークシートをご参照ください。

＜討議結果のまとめ＞

討議3「伝えてみよう。あなたの声で 高崎 咲カス」

★【討議2】で決まったビジョンのためには、どのような企画、手法が考えられますか？

順位	票数	意見のまとめ	班
第一位	14票	高崎の名所で音楽フェスをする(プロジェクションマッピング)	D
第一位	14票	マーチングと群響でコラボを	G
第三位	13票	高崎独自のコンサート、マーチングの開催(TDR誘致・中規模フェスをアーケード街で等)	H

分類	票数	意見のまとめ	班
イベント	6	全国太鼓祭りを高崎アリーナで開催(頼政太鼓)	B
	10	音楽イベントの拡大(誰でも楽しめる)	C
	1	話題性のあるイベント開催	C
	10	アマチュアバンドのオーディション(高崎出身の著名人審査)	D
	5	既存のイベントをさらに盛り上げる(情報発信)	F
	6	高崎出身者の音楽オーディション。優勝者は高崎アリーナでソロライブ	E
コラボ	7	キングオブパスタと共に音楽の体験会	B
	3	音楽イベントで食・文化のコラボ	C
	7	群響と布袋さんでコラボを	E
環境・開発	6	アーケード街をジャズストリートに	B
	7	音楽を学べる学校の創設	E
	2	音楽演奏のできる場所の提供	F
	1	高崎の歌をつくる	F
	4	市民が気軽に演奏等を楽しめる環境づくり	H
メディア・広報	3	SNS・メディアへの働きかけ、音楽のまちを印象付けるモニュメント作成	H
	7	イベントをアピールする方法を(ヤマダ電機の画面等)	G
	6	参加する(ボランティア・発表の場等の回数を増やす)	A
	5	知らせる(SNSの活用、病院などに配布)	A
	3	地元のアーティストの協力	A
その他	4	高崎名物の出店	D

討議3「伝えてみよう。あなたの声で 高崎 咲カス」

★【討議2】で決まったビジョンのためには、どのような企画、手法が考えられますか？

グループ	A	メンバー ☆じゅんちゃん・ピアニスト・まま・ライト・みーちゃん・そら
------	---	---------------------------------------

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

イベント	
音楽祭を開く	→ 同時開催で食のイベント
「マーチング」や「森とオーケストラ」レベルのイベントを「アリーナ」や「もてなし広場」で開催	
音楽文化を高崎まつりなどで提供	
小さな広場で行う	小さなスタジオをつくる
コンクール	
イベントのボランティアをつくる	

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

◇ 参加する(ボランティア・発表の場等の回数を増やす)	6
◇ 知らせる(SNSの活用、病院などに配布)	5
◇ 地元のアーティストの協力	3

たかさき市民討議会VOICE2017

※「意見のまとめ」右にある数字は投票の獲得数となります。

討議3「伝えてみよう。あなたの声で 高崎 咲カス」

★【討議2】で決まったビジョンのためには、どのような企画、手法が考えられますか？

グループ	B	メンバー ☆がっちゃん・あん・たま・ばーちゃん・ママ・くわちゃん
------	---	-------------------------------------

作業スペース【出された意見を張りだしていきましょう】

場所		内容	
高崎アリーナ	キングオブパスタ	ジャズ	マーチング
アーケード街	もてなし広場	音楽体験(こども)	頼政太鼓
高崎まつり		箕輪太鼓	山車お囃子
		音楽フェス	

こどもたちに郷土の本物を

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- | | |
|--------------------------|---|
| ◇ 全国太鼓祭りを高崎アリーナで開催(頼政太鼓) | 6 |
| ◇ キングオブパスタと共に音楽の体験会 | 7 |
| ◇ アーケード街をジャズストリートに | 6 |

たかさき市民討議会VOICE2017

※「意見のまとめ」右にある数字は投票の獲得数となります。

討議3「伝えてみよう。あなたの声で 高崎 咲カス」

★【討議2】で決まったビジョンのためには、どのような企画、手法が考えられますか？

グループ	C	メンバー ☆花・グレー・シーチャン・ネギ・ビジー・きち
------	---	--------------------------------

作業スペース【出された意見を張りだしていきましょう】

音楽祭	イベント
定期的な 広いジャンル PR	高崎駅前 ロックフェス 音楽と食のフェス 抽選方式
拡大 参加しやすく	もてなし広場で 無料イベント 親子コンサート 一般参加型(大会)
その他	
朝ドラ・大河 はとバス「フェス」ツアー ライブを行う店舗へ補助金	

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

◇ 音楽イベントの拡大(誰でも楽しめる)	10
◇ 話題性のあるイベント開催	1
◇ 音楽イベントで食・文化のコラボ	3

たかさき市民討議会VOICE2017

※「意見のまとめ」右にある数字は投票の獲得数となります。

討議3「伝えてみよう。あなたの声で 高崎 咲カス」

★【討議2】で決まったビジョンのためには、どのような企画、手法が考えられますか？

グループ	D	メンバー ☆ちよこ・GAN・ひらんちゃん・ひろむくん・アイアン・ちーちゃん
------	---	--

作業スペース【出された意見を張りだしていきましょう】

場所	内容
アリーナ	音楽+何か
和田橋	音楽+飲み
市庁舎	音楽+食べる
サッカーグラウンド	音楽+パスタ
観音山	音楽+ワインバル
アーケード街	
バス通り(田町)	
少林山	
公園	
もてなし広場	
駅前	
寺	

その他
高崎にまつわる音楽クイズ
親子で楽しめるマーチングフェス
高崎にまつわる音楽で高崎を知る
駐車スペースの確保
治安悪化
交通の便が気になる

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

◇ 高崎の名所で音楽フェスをする(プロジェクションマッピング)	14
◇ アマチュアバンドのオーディション(高崎出身の著名人審査)	10
◇ 高崎名物の出店	4

たかさき市民討議会VOICE2017

※「意見のまとめ」右にある数字は投票の獲得数となります。

討議3「伝えてみよう。あなたの声で 高崎 咲カス」

★【討議2】で決まったビジョンのためには、どのような企画、手法が考えられますか？

グループ

E

メンバー

☆キーちゃん・まあちゃん・十字くん・かおりん・くろちゃん・ふくちゃん

作業スペース【出された意見を張りだしていきましょう】

音楽文化	
野外フェス	ロックフェス
オーディション	パレード
市民ミュージカル	小中学校音楽祭
市民合唱	音楽センター
音楽に関する生涯学習プログラム	
音楽の授業時間を増やす	

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- ◇ 高崎出身者の音楽オーディション。優勝者は高崎アリーナでソロライブ
- ◇ 音楽を学べる学校の創設
- ◇

6

7

たかさき市民討議会VOICE2017

※「意見のまとめ」右にある数字は投票の獲得数となります。

討議3「伝えてみよう。あなたの声で 高崎 咲カス」

★【討議2】で決まったビジョンのためには、どのような企画、手法が考えられますか？

グループ

F

メンバー

☆スマイル・横しまくん・ブルー・ろくばん・さくら・メロンちゃん

作業スペース【出された意見を張りだしていきましょう】

音楽	
高崎カフェ & Music	音楽出前
常設の野外コンサート場	歩行者信号音をクラシックに
高崎駅発の電車の中で演奏	道路をメロディラインに
SLみなかみ音楽号	街中にBGMを
市役所お昼休みコンサート	ぐんまちゃんが楽器を演奏
駅でいきなりコンサート	プロとアマの夢の競演
街灯のデザインを音楽的なものに	マーチング全国大会
合唱大会を開く	他のイベントと共催で音楽イベント
個人CD即売会	高崎の歌をつくる
マーチングフェスティバルで露店を許可	

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

◇ 既存のイベントをさらに盛り上げる(情報発信)	5
◇ 音楽演奏のできる場所の提供	2
◇ 高崎の歌をつくる	1

たかさき市民討議会VOICE2017

※「意見のまとめ」右にある数字は投票の獲得数となります。

討議3「伝えてみよう。あなたの声で 高崎 咲カス」

★【討議2】で決まったビジョンのためには、どのような企画、手法が考えられますか？

グループ **G**

メンバー

☆なっちゃん・埜田・おとみさん・びさん・げんさん・双子弟

作業スペース【出された意見を張りだしていきましょう】

群響	その他
イベントに参加してもらう	小中高マーチングフェス
コラボ	TAGOスタジオの活用
実際に聞きに行く	イベントPR方法

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

◇ 群響と布袋さんでコラボを	7
◇ マーチングと群響でコラボを	14
◇ イベントをアピールする方法を(ヤマダ電機の画面等)	7

たかさき市民討議会VOICE2017

※「意見のまとめ」右にある数字は投票の獲得数となります。

討議3「伝えてみよう。あなたの声で 高崎 咲カス」

★【討議2】で決まったビジョンのためには、どのような企画、手法が考えられますか？

グループ

H

メンバー

☆双子兄・ゼブラちゃん・桐生・パパ・シリキ・パイン

作業スペース【出された意見を張りだしていきましょう】

音楽企画	手法
全年齢それぞれが楽しめる マーチングの規模拡大 年間通しての開催 コンサートの誘致 有名アーティストを招致 高崎市のアイドルユニット TDRのパレードを高崎で 誰でも気軽に色々な楽器を弾ける場所 若手ロックと楽団のバトル VRでマーチング体験	SNSの活用 メディアの活用 ホームページの活用 高崎=音楽の街をPR 全国TV放送でCM アプリ作成 小規模フェスや団体の誘致 駅の音楽スペースの拡大 発表する場を無料で提供 市役所前にハーブの噴水

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- | | |
|--|----|
| ◇ 高崎独自のコンサート、マーチングの開催（TDR誘致・中規模フェスをアーケード街で等） | 13 |
| ◇ SNS・メディアへの働きかけ、音楽のまちを印象付けるモニュメント作成 | 3 |
| ◇ 市民が気軽に演奏等を楽しめる環境づくり | 4 |

たかさき市民討議会VOICE2017

※「意見のまとめ」右にある数字は投票の獲得数となります。

【討議４】 『アクション高崎』

＜討議の目的＞

【討議２】の結果を踏まえ、【討議３】で討議した「行政への提案」とは別に、市民が出来るアクションにはどのようなものが考えられるのか、気軽に始められることなど自由な発想から討議を行いました。

＜情報提供の内容＞

【討議４】に関しては、市民、個人から出来ることの発想、意識付けが目的のため情報提供は行っておりません。

＜討議結果の考察＞

【討議２・３】を踏まえ市民や個人に出来るアクションについて、全体投票の結果から、第一位に「アンテナショップで宣伝」、第二位に「マスコットキャラやスーパーでアピールしてもらおう」、第三位に「地元の著名人にPRを依頼する」、「店（飲食店）での音楽活動の開催しやすさ、工夫、アイデアを！環境づくりをみんなでしよう！」の２つが選ばれました。

共感を得た第一位、第二位はともに、市民と行政のコラボレーションによる要素を含みますが、第三位やその他の意見では市民自らが行動出来るものとして多くが挙げられました。

特筆すべき点は「ボランティア参加」に関する意見は統一すると１０票以上を獲得しており、高崎を発信する企画への意識が前向きであることです。その他にも「まず参加してみる」ことからの「SNS活用」、「回覧板や町内掲示板の活用」、「町内のチラシ配り」など気負わずに継続出来るアイデアが多く出ました。

印象に残る点として、第三位に選ばれた発表では、高崎市在住の芥川賞作家、絲山秋子さんの名前が出るなど、高崎市の魅力を伝えるに最適な人材を理解する参加者がいたことです。高崎市民の、日頃の意識の高さを表した発表であったと思います。

※意見詳細は、ワークシートをご参照ください。

<討議結果のまとめ>

討議4 「アクション 高崎」

★【討議2・3】を踏まえ、市民や個人のアクションにはどのようなものが考えられますか？

順位	票数	意見のまとめ	班
第一位	24票	アンテナショップで宣伝	H
第二位	13票	マスコットキャラやスーパーなどアピールしてもらう	C
第三位	11票	地元の著名人にPRを依頼する	C
第三位	11票	店(飲食店)での音楽活動の開催しやすさ、工夫、アイデアを！環境づくりをみんなでしょう！	F
分類	票数	意見のまとめ	班
個人	3	自らが参加してその風景などをSNSにて発信する	A
	4	参加するだけでなく、アンケートも反映されるように意見を出す	A
	6	ボランティア等に積極的に参加する	A
	4	ボランティアに参加する	D
	10	まず一つ参加してみる	G
	2	SNSで発信	G
	7	仲間を誘う(次回一緒に参加)	G
	1	SNS等での発信	H
市民	0	SNSでの拡散	B
	5	口コミ	B
	2	ボランティアで参加してもらう	E
	4	イベントに積極的に参加して口コミで伝える	D
	3	あらゆる所で市民参加型の音楽活動を。ライブを見る人、演奏する人、“全てが参加者”	F
行政	13	マスコットキャラやスーパーなどアピールしてもらう	C
	4	SNSに載せる場所をつくる(チラシをコンペにして若者に協力してもらう)	E
	24	アンテナショップで宣伝	H
	2	広告(メディアやバスのラッピング等)を働きかける	H
	3	SNSの有効活用(高齢者はあんしんセンターに声掛けしてもらう)	C
企業・店舗	11	店(飲食店)での音楽活動の開催しやすさ、工夫、アイデアを！環境づくりをみんなでしょう！	F
	6	バス・電車での広告、病院等にチラシ	E
	6	イベントの周辺情報(お店の割引券等)を伝える	D
	8	コンビニでのチラシ設置、ポスター貼り	B
その他	11	地元の著名人にPRを依頼する	C
	5	SNSや動画サイト、ミニコミ誌、ぐんまちゃん情報発信	F

討議4「アクション 高崎」

★【討議2・3】を踏まえ、市民や個人のアクションにはどのようなものが考えられますか？

グループ

A

メンバー

☆シリキ・あん・さくら・桐生・ひろむくん・きーちゃん

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

ティッシュ配り
ラジオ
電車の広告に掲載
ボランティアで参加する
会社に協力を求める
身近な人に紹介する
参加する
アンケートをしっかりと書く
インスタ・ツイッター等のSNSを使用した拡散

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- | | |
|---------------------------------|---|
| ◇ 自らが参加してその風景などをSNSにて発信する | 3 |
| ◇ 参加するだけでなく、アンケートも反映されるように意見を出す | 4 |
| ◇ ボランティア等に積極的に参加する | 6 |

たかさき市民討議会VOICE2017

※「意見のまとめ」右にある数字は投票の獲得数となります。

討議4「アクション 高崎」

★【討議2・3】を踏まえ、市民や個人のアクションにはどのようなものが考えられますか？

グループ

B

メンバー

☆ネギ・げんさん・GAN・まま・ばあちゃん・かおりん

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

コンビニでポスター貼り
 モテコなどの情報誌に掲載
 SNS活用をアピールする
 自家用車にPRステッカーを貼る
 イベントアイテムを身に着ける
 地道に口コミ
 回覧板や町内掲示板の活用
 会社で話をする
 スポーツ団体に周知する
 町内のみのチラシ配り

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

◇ コンビニでのチラシ設置、ポスター貼り	8
◇ SNSでの拡散	0
◇ 口コミ	5

たかさき市民討議会VOICE2017

※「意見のまとめ」右にある数字は投票の獲得数となります。

討議4「アクション 高崎」

★【討議2・3】を踏まえ、市民や個人のアクションにはどのようなものが考えられますか？

グループ	C	メンバー ☆じゅんちゃん・シーちゃん・そら・まあちゃん ふくちゃん・みーちゃん
------	---	---

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

SNS(ツイッター・フェイスブック等)で情報拡散
 あんしんホットメールの活用
 ケンミンショー等の郷土ネタを取り上げるTV番組に情報提供する
 回覧板・掲示板
 病院・スーパーの活用
 スーパーのレジ付近にイベントチラシ
 お年寄りにはあんしんセンターの人に声掛けをしてもらう
 井田ヒロト・絲山秋子等の高崎在住の漫画家・作家さんに高崎のPRをもらう
 PRのためのマスコットキャラを市民から募集する

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

◇	地元の著名人にPRを依頼する	11
◇	SNSの有効活用(高齢者はあんしんセンターに声掛けしてもらう)	3
◇	マスコットキャラやスーパーなどアピールしてもらう	13

たかさき市民討議会VOICE2017

※「意見のまとめ」右にある数字は投票の獲得数となります。

討議4「アクション 高崎」

★【討議2・3】を踏まえ、市民や個人のアクションにはどのようなものが考えられますか？

グループ

D

メンバー

☆くわちゃん・ろくぼん・ママ・たま・くろちゃん・ちょこ

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

SNS等で発信

口コミで伝える

誘って参加する

自分が行ってみる

紙媒体のお知らせを見る

参加した感想・口コミ

イベントの周辺情報(駐車場など)を発信してほしい

こどもを通して参加してもらう

参加ボランティアを無作為抽出する

音楽のまち高崎を支える人になるきっかけになる

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

◇ ボランティアに参加する

4

◇ イベントに積極的に参加して口コミで伝える

4

◇ イベントの周辺情報(お店の割引券等)を伝える

6

たかさき市民討議会VOICE2017

※「意見のまとめ」右にある数字は投票の獲得数となります。

討議4「アクション 高崎」

★【討議2・3】を踏まえ、市民や個人のアクションにはどのようなものが考えられますか？

グループ

E

メンバー

☆ちーちゃん・ひらちゃん・ピアニスト・グレー・埜田・すまいる

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

TV・ラジオ・NHK群馬版

電車・バスの広告

都内の「ぐんまちゃん家」

今あるイベントに行ってみる→感想をツイートする

町内会で対抗戦を行う。子供～お年寄りまで混合で発表

SNSで発信

サイトやパンフのデザインを高崎市内のデザイナーや芸術を志す人に協力

ボランティアスタッフとして参加する

市民参加型のイベント

市内各所で音楽フェス主催者のボランティアを募る

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- | | |
|---------------------------------------|---|
| ◇ SNSに載せる場所をつくる(チラシをコンペにして若者に協力してもらう) | 4 |
| ◇ バス・電車での広告、病院等にチラシ | 6 |
| ◇ ボランティアで参加してもらう | 2 |

たかさき市民討議会VOICE2017

※「意見のまとめ」右にある数字は投票の獲得数となります。

討議4「アクション 高崎」

★【討議2・3】を踏まえ、市民や個人のアクションにはどのようなものが考えられますか？

グループ	F	メンバー ☆アイアン・十字くん・双子兄・びさん・メロンちゃん・パパ
------	---	--------------------------------------

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

私有地を借りて有志でライブをする 路上ライブ 各種イベントでの小規模コンサート 参加→食事の割引 ぐんまちゃんがPR	動画サイトで演奏発表（SNSで人気投票） 駅の広告 チラシ・市広報等にもっと積極的に目を通す 学校でイベントポスターを作成する 各種イベントへの積極的な協力、参加
友達割をつくる（新しい友人・知人・家族等を誘って申し込むとチケット割引） アマチュアのちんどん屋さん（だれでもちんどん） 音楽講座・教室の充実（民間だけではなく、市が主催のものも） 初めは抱き合わせイベントで開催、盛り上がってきたら独立する “全ての市民”がプレイヤー（上手下手・経験の有無・楽器の所有に関係なく音楽しよう！） 自分自身が高崎のことをもっとよく知る 自分自身が「高崎」に対して愛着や誇りを抱く 高崎市のビジョンをよく理解する	

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

- | | |
|---|----|
| ◇ SNSや動画サイト、ミニコミ誌、ぐんまちゃんて情報発信 | 5 |
| ◇ あらゆる所で市民参加型の音楽活動を。ライブを見る人、演奏する人、“全てが参加者” | 3 |
| ◇ 店（飲食店）での音楽活動の開催しやすさ、工夫、アイデアを！環境づくりをみんなでしよう！ | 11 |

たかさき市民討議会VOICE2017

※「意見のまとめ」右にある数字は投票の獲得数となります。

討議4「アクション 高崎」

★【討議2・3】を踏まえ、市民や個人のアクションにはどのようなものが考えられますか？

グループ
G

メンバー
☆ライト・なっちゃん・おとみさん・パイン・ブルー・ビジー

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

不要な楽器を集めて若い人に触ってもらう	楽器に触れてみる
高崎市のホームページを見る	音楽に興味を持つ
市民にJアラートのようなものを送信	インターネットで発信
高崎キャラクターを作る	小中学校で知らせる
職場の人にイベントを知らせる	
職場（県外）で高崎は音楽の街だとPRする	
高崎で音楽コンサートに参加してみる	
自分の楽しさを知らせる、音楽イベント情報など	
イベントに参加するとポイント・割引券がもらえる、抽選会を取り入れる	

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

◇	まず一つ参加してみる	10
	↓	
◇	SNSで発信	2
	↓	
◇	仲間を誘う（次回一緒に参加）	7

たかさき市民討議会VOICE2017

※「意見のまとめ」右にある数字は投票の獲得数となります。

討議4「アクション 高崎」

★【討議2・3】を踏まえ、市民や個人のアクションにはどのようなものが考えられますか？

グループ	H	メンバー ☆きち・花ちゃん・横しまさん・ゼブラちゃん・がっちゃん・双子弟
------	---	---

作業スペース【出された意見を貼りだしていきましょう】

ネット広告を作成する人材の育成	飲食店等にビラ置き
はとバスツアー企画	家族と情報を共有する
小学校・幼稚園・保育園へのお知らせ	魅力的なコピーを作る
アンテナショップでPR	ドラマ・アニメで聖地化
メディア(TV・ラジオ)宣伝	職場で共有
ラジオ高崎・FM群馬・NHK(群馬枠)	電車の中づり広告
	YouTubeの作成
SNSの活用(老若男女幅広い世代が発信できるようSNS講座)	
自らがイベントに参加して、実況中継をする	
発信者が楽しむことから引き込む	
フォトジェニックなラッピングバス・電車	
まずは家族・友人・知人などの地元民から巻き込む	
県外への周知が課題	

意見のまとめ【意見を3点ほどに絞り、まとめましょう】

◇ SNS等での発信	1
◇ 広告(メディアやバスのラッピング等)を働きかける	2
◇ アンテナショップで宣伝	24

たかさき市民討議会VOICE2017

※「意見のまとめ」右にある数字は投票の獲得数となります。

VOICE.1

あなたご自身についてお聞きします。

- ① あなたの性別をお聞かせください。
次のなかから 1つ 選び○をつけてください。

区 分	回答数
1. 男性	21
2. 女性	27
無回答	0
合計	48

- ② あなたの年代をお聞かせください。
次のなかから 1つ 選び○をつけてください。

区 分	回答数
1. 20歳代	6
2. 30歳代	12
3. 40歳代	17
4. 50歳代	12
5. 60歳代	1
6. 70歳以上	0
無回答	0
合計	48

- ③ あなたのお住まいの町名をお答えください。（例：高松町、上並榎町）

町名	件数	町名	件数	町名	件数
赤坂町	1	双葉町	1	佐野町	1
あら町	2	箕郷町	1	新保田中町	1
石原町	1	南大類町	1	新保町	1
大類町	2	棟高町	1	真町	1
新田町	1	八千代町	2	末広町	1
台町	1	吉井町	8	砂賀町	1
問屋町	2	上佐野町	3	田町	1
中豊岡町	1	足門町	1	天神町	1

成田町	1	井野町	1	常盤町	1
引間町	1	上小鳥町	1	豊岡町	2
浜尻町	1	緑町	1	四ツ屋町	1
高関町	1				

VOICE.2

参加理由についてお聞きします。

- ① 今回、市民討議会に参加を決めた理由をお聞かせください。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

区 分	件数
1. 討議テーマに興味があったから	1 1
2. 高崎市が主催に関わっているから	7
3. 日程の都合がついたから	1 1
4. 会場が近かったから	5
5. 報酬金があったから	1 3
6. チラシ・案内を見て興味があったから	9
7. 高崎市のまちづくりや計画に自分の意見が反映されるかもしれないから	2 1
8. 参加対象者を無作為抽出で選んでいるから	1 9
9. その他	7
無回答	0
合計	1 0 3

※「8. その他」の内容

- ・自分が住んでいる街のことだから。
- ・妻が応募したため。
- ・市役所に入ったことがなかったのでこの機会にと思いました。
- ・日頃思っていることを伝えられると思ったため。
- ・高崎市の取り組み、抱えている問題を勉強するため。
- ・高崎市の考えや方針などを少しでも知れる機会になればと思ったため。

② あなたの参加申し込み方法についてお聞きします。あてはまるものに○をつけてください。また、今回より申し込み方法に郵送、FAX、QRコードの三通りを用意し、参加のし易さについて工夫しました。いかがでしたでしょうか？

区 分	件数
1. 返信郵送	31
2. FAX	4
3. QRコード	13
無回答	0
合計	48

【感想】

※1. 返信郵便

- ・返信しやすかった。
- ・連絡しやすくて良かった。

※3. QRコード

- ・申し込みし易かった。
- ・手間がかからなくて良かった。
- ・簡単でした。
- ・携帯で処理できるので良い。文字入力が楽。
- ・家から出ないで申込みできてよかった。

VOICE.3

市民討議会の日程、時間設定についてお聞きします。

① 市民討議会を1日間で開催することについてどう感じましたか。あてはまるものを1つ選び○をつけてください。

区 分	件数
1. ちょうど良かった	31
2. 1日じゃ足りなかった	4
3. 長かった	13
4. もっと設けるべきだ	0
5. その他	0
無回答	0
合計	48

※「4. もっと設けるべきだ」の理由

- ・意見なし

※「5. その他」の内容

- ・一日はちょうど良いですが、年に数回開催しても良いと思う。
- ・休憩が少ない。タフさが求められる。
- ・1日じゃ足りなかった。思いのほか盛沢山でした。

② 市民討議会の開始、終了時間について、どう感じましたか？あてはまるものを1つ選び○をつけてください。

区 分	件数
1. ちょうど良かった	29
2. もっとゆっくり始めて欲しい	7
3. もっと早く終わらせて欲しい	11
4. その他	0
無回答	1
合計	48

VOICE.4

討議についてお聞きします。

① 高崎は好きですか？あてはまるものを1つ選び○をつけ、その理由をご記入ください。

区 分	件数
1. 好き	44
2. 嫌い	0
3. どちらでもない	4
無回答	0
合計	48

※「1. 好き」の理由

- ・ 町がコンパクトで住みやすい。
- ・ 交通の便が良い。(3)
- ・ 災害が少ない。(3)
- ・ 町の規模としてちょうど良い企業がたくさんある。
- ・ 住みやすい。(7)
- ・ 地元だから。(2)
- ・ 食品や観光など季節の暮らしが充実している。
- ・ 徒歩圏での生活に不便がない。
- ・ 店が多くあり、交通の便も良い。
- ・ 他都道府県へ動きやすい。
- ・ 過ごしやすい街だと思う。
- ・ 都心へのアクセス、地価・物価等のバランスが良い。

※「2. 嫌い」の理由

- ・ 意見なし

※「3. どちらでもない理由」

- ・もっと良くなれるはずだから。
- ・県内では最も住みやすいが東京と比べてしまうと劣る。
- ・情報が無いのでわからない。

② 討議中の時間についてどのように感じましたか？あてはまるものを1つ選び○をつけてください。

区 分	件数
1. 長い	9
2. 普通	20
3. 短い	19
4. その他	0
無回答	0
合計	48

※【2. 普通】の理由

- ・もっと短くても良い。
- ・時間を長く設定しても意見がまとまらない。

※【3. 短い】の理由

- ・クイズは10問くらいでいい。

③ 討議1「咲かそう高崎郷土愛」では「高崎クイズ」を行い、高崎のスポット、文化、歴史について討議を行いました。ここで新たな気づきがありましたか？あてはまるものを1つ選び○をつけ、その理由をご記入ください。

区 分	件数
1. 気づきがあった	44
2. 気づきなかった	1
3. どちらともいえない	3
無回答	0
合計	48

※「1. 気づきがあった」の理由

- ・知らないことが多かった。(7)
- ・知らないことがあったので知れて良かった。司会が良かった。
- ・山車の件は知れて良かった。

- ・知らないことを知れた。
- ・山車の話は驚いた。周りにも話したい。
- ・まだ知らないことがたくさんあると感じた。
- ・高崎のセールスポイントが少ない点。
- ・後半の問いには、ほとんど答えられなかったので知らないことがたくさんあることがわかった。
- ・洞窟観音の隠れたスポットに気づくことができた。
- ・山車や歴史を知れて楽しかった。
- ・わかる場所があった。
- ・歴史的なことは知らなかったのが新鮮だった。
- ・旧市外である榛名山のことがわかった。
- ・子どものころから知っているようで知らなかった。
- ・高崎の細かい面に気づくことができた。
- ・高崎の歴史を知った。
- ・シャンゴの1号店の場所など
- ・歴史

※「2. 気づきがなかった」の理由

- ・意見なし

※「3. どちらともいえない」の理由

- ・主催者側は楽しそうに見えたが集中することができなかった。
- ・スポット、文化、歴史を聞いても郷土愛は生まれなかった。クイズは楽しかった。

④ 討議2「みんなの声で満開高崎」に入る前に情報提供として「パスタの街 高崎」についてお話しましたが、討議するにあたり参考になりましたか？あてはまるもの1つ選び○をつけてください。また、その理由をお書きください。

区 分	件数
1. とても参考になった	15
2. 参考になった	25
3. あまり参考にならなかった	7
無回答	1
合計	48

※「1. とても参考になった」の理由

- ・イベントの進め方等が参考になった
- ・パスタの街で有名なことを知らなかつた。パスタのイベントに行ってみたい。
- ・なぜパスタの店が多いかわかったから
- ・なぜ「パスタの街」なのかが理解できた。
- ・パスタの豆知識的なものを知ることができた。
- ・シャンゴが好きです。高島屋のところにあったジルも好きなパスタ屋さんです。次からキングオブパスタにも出て欲しい。
- ・参加したいです。
- ・パスタの街の生い立ちが理解できた。

※「2. 参考になった」の理由

- ・ 討議する内容の進め方がわかりました。
- ・ 知らないことが多少あった。
- ・ 大体知っていたため。
- ・ 高崎のパスタの歴史について知ることが出来、参考になった。
- ・ 個人力が大切であることに気づいた。
- ・ イベントに参加して経緯も知っていた。
- ・ パスタにこだわり過ぎた。

※「3. あまり参考にならなかった」の理由

- ・ ラーメン派だから。
- ・ パスタが嫌い。
- ・ 情報提供があった事で多くの班がパスタを意見に絡めたような気がする。
- ・ 議題とは違うと感じた。

⑤ 討議2「みんなの声で満開高崎」では、これからの高崎の代名詞になってほしいもの、そのためにはどういったビジョンが考えられるか、について討議を行いました。ここで新たな気づきがありましたか？あてはまるものを1つ選び○をつけ、その理由をご記入ください。

区 分	件数
1. 気づきがあった	3 3
2. 気づきなかった	1
3. どちらともいえない	1 2
無回答	2
合計	4 8

※「1. 気づきがあった」の理由

- ・ パスタ
- ・ あるけど知らないイベント、まずは気にしてイベントを知り行ってみることが大切であると知った。
- ・ 皆、高崎が好きであると思った。
- ・ 色々な理解があるのだと思った。
- ・ 忘れていたものが他のグループの発表でたくさんあった。
- ・ 交通の便が良いのでそれを活かしてみてもいい。
- ・ 梅をもっと利用できると思った。花を見るだけではなく、梅干し作り体験やジュース作りなど。
- ・ いろいろな方向性があるということ。
- ・ 既存の施設、イベントの活用。
- ・ 知らない情報があった。
- ・ 様々な人の意見が聞けて見聞が広がった。
- ・ 音楽への関心が高い点
- ・ 郷土愛について考えていなかった。

※「2. 気づきがなかった」の理由

- ・意見なし。

※「3. どちらともいえない」の理由

- ・新鮮な案ではあった。(自分も含めて)

⑥ 討議3「伝えてみよう。あなたの声で高崎咲カス」に入る前に情報提供として「パスタの街 高崎」、「キングオブパスタ」についてお話しましたが、討議するにあたり参考になりましたか？あてはまるもの1つ選び○をつけてください。また、その理由をお書きください。

区 分	件数
1. とても参考になった	7
2. 参考になった	29
3. あまり参考にならなかった	11
無回答	1
合計	48

※「1. とても参考になった」の理由

- ・市役所が頑張っていることがわかった。
- ・いろいろな方向性があるということ。

※「2. 参考になった」の理由

- ・盛り上がるイベントが重要であると思いました。
- ・個人の力が集まって年々大きくなるイベントを作り出したと知った。
- ・参考になったが、討議2での情報提供とかぶる点が多かったので、他の例があれば聞きたかった。
- ・具体例として聞いていたのでこういうアイデアを出せば良いというのがわかった。
- ・パスタは若年層になってしまうのではないか。

※「3. あまり参考にならなかった」の理由

- ・ラーメン派なので。
- ・経緯を知っていたので。(2)
- ・情報提供としては良いが、参考にはならない。
- ・パスタの街高崎が市外にそんなに普及していないと思うので。
- ・ブレインストーミングの邪魔。

⑦ 討議３「伝えてみよう。あなたの声で高崎咲カス」では、これから高崎の代名詞となつてほしいものについて、行政に手法、企画など皆さんのアイデアを提案するための討議を行いました。ここでは新たな気づきがありましたか？あてはまるものを１つ選び○をつけ、その理由をご記入ください。

区 分	件数
１．気づきがあった	３５
２．気づきなかった	５
３．どちらともいえない	６
無回答	２
合計	４８

※「１．気づきがあった」の理由

- ・議題が難しくなった。
- ・駅のメロディーを高崎の有名人に作ってもらう。
- ・いろいろなアイデアを聞くことができた。
- ・様々な人の意見が聞けて見聞が広がった。
- ・声をあげても一人では無理な点。
- ・他人の意見の中にも面白い物があると思った。
- ・多くの個人のアイデアが集まると良いと思えるアイデアが多々出てくる。そしてそれはランダムに選ばれた人だからこそそのものがある。
- ・ライブ、フェスの話以外にも、モニュメント、電車の到着音を工夫する等の方法は新しい気づきであった。
- ・家にばかりいないで、まず行動することが必要と感じました。
- ・物理的に無理なものもある。
- ・自分にない発想。

※「２．気づきなかった」の理由

- ・音楽のテーマで知っていることが多かった。
- ・特に気づきはありません。

※「３．どちらともいえない」の理由

- ・大体想定した内容であるから

⑧ 議題４「アクション高崎」では、討議２・討議３での討議結果を踏まえ、市民または個人が出来るアクションは何かについて討議を行いました。ここでは新たな気づきがありましたか？あてはまるものを１つ選び○をつけ、その理由をご記入ください。

区 分	件数
１．気づきがあった	２８
２．気づきなかった	７
３．どちらともいえない	１１
無回答	２
合計	４８

※「１．気づきがあった」の理由

- ・ランダムにチラシ案内を出してボランティア参加を募ると良いと思う。
- ・著名人の活用、SNSの活用。
- ・SNSの時代ということ
- ・個人の振り返りになった。
- ・参加する、アンケートは丁寧に書く。できたらボランティアも。
- ・まず参加することが大事だと気付きました。
- ・外部への情報発信が重要であると思いました。
- ・まずは自分で動かない限り何も変わらないというのをリアルに感じた。
- ・新鮮な答えはなかったが、個人で出来ることは意外とシンプルなことが多く、自分でもできることに気づいた。
- ・様々な意見が多かった。
- ・年間のイベント表がないとスケジュールが立てられない。

※「２．気づきなかった」の理由

- ・少々時間がなく、平凡なアイデアで終わってしまった。

※「３．どちらともいえない」の理由

- ・できることに限りがあるので、そのために討議会を開く。
- ・自分から出すものだとあまり意見がでなかった。
- ・SNSの利用等事前に用意していた知識と共通する意見が多かった。人の発表の仕方等が参考になりました。
- ・討議４の題に対して個人で何ができると考えるとかなり限られる気がして難しかった。
- ・音楽を盛り上げる上で参加すること以外には思いつかないため。

⑨ 今回の市民討議会の参加を終えて、今後まちづくりに参加したいと思いましたが？あてはまるものを１つ選び○をつけてください。また、その理由についてもお聞かせください。

区 分	件数
１．非常にそう思う	１９
２．ややそう思う	２３
３．どちらともいえない	５
４．あまりそう思わない	０
５．まったくそう思わない	１
無回答	０
合計	４８

※「１．非常にそう思う」の理由

- ・ イベント等の具体的なテーマ。
- ・ 高崎はPRが下手なところがあると県外の知人に指摘されることが多いので市民レベルを変えたい。
- ・ 情報の発信は大切。
- ・ 都会と自然の中間にありながら、とても住みやすいので何かに貢献したい。
- ・ 意見をだすのはいいことだと思います。
- ・ ボランティア活動するなど参加してみたいと感じた。
- ・ 色々な意見が聞ける場であると思いました。
- ・ 将来の街作りに意見を述べたい。その価値がある都市である。

※「２．ややそう思う」の理由

- ・ 出席率が高く参加者の高崎愛が感じられたから。
- ・ 高崎も元気になって欲しい。
- ・ 自分の意見が反映される可能性があると思ったから。
- ・ まだまだ高崎について知らないこともあるので、参加をして勉強していきたい。
- ・ 一般論が多かった。
- ・ 高崎の為に何かしたいが、仕事もある為ほどほどに参加したい。
- ・ 自分でできることから高崎を盛り上げたい。
- ・ 時間が合えば参加していきたい。

※「３．どちらともいえない」の理由

- ・ 休みの日は休みたいから。
- ・ 今回は楽しく参加させていただきましたが、まだ積極的に参加しようと思える魅力が感じられないので。
- ・ 参加形式による。

※「４．あまりそう思わない」の理由

- ・ 意見なし

※「５．まったくそう思わない」の理由

- ・ 意見が反映されそうにない。

⑩ 今後の市民討議会でとりあげて欲しいテーマや課題等がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・ いかに高崎に人を集める方法（旅行、仕事、移住）
- ・ 高崎市民がＵターン就職やＩターン就職について南関東や東京に出て行き、もう出てこない人たちが多いために人口減少に歯止めをかけるためにはどうするか。
- ・ 子どもと遊べる施設やイベントについて。
- ・ 公共交通機関の充実、老人が外に出られる社会、脱だるま依存。
- ・ 高崎の認知度魅力度を上げるためには市民レベルで何ができるか改善案を出して欲しい。
- ・ 高崎市の各施設の活用について。
- ・ 防犯。
- ・ 住民サービス。
- ・ 公共交通機関の縮小に対する対策。
- ・ ここがダメだよ高崎市。

- ・高崎の欠点探し（良い点ばかりみても欠点が放置されたままであれば意味がないと思われる）
- ・教育（小中高での取り組み）、公共事業の活用状況。
- ・高崎市で生活するにあたっての問題点、不便点について。
- ・高崎の交通について。
- ・高崎の名物、有名人。
- ・税金について、福祉について。
- ・老人の住みやすい環境や子どもが大きくなった時にまた戻りたい市づくりについて。
- ・個人が知っている高崎の良い所を知りたい。
- ・子どもたちが感じる郷土愛、市民参加型イベント。
- ・住民として住みやすい町づくりの提案、イベント町おこしの提案。
- ・少子高齢化問題。
- ・少林山のだるま市。
- ・高崎市を県の内外にアピールするためには。
- ・公園の活性化。露店や出店を地元の商店街に出して欲しい。

●**たかさき市民討議会に参加をしていかがでしたか？良かった点、改善すべき点、その他ご意見、ご感想など、ご自由にお書きください。**

■**良かった点とご意見**

- ・楽しかったです。イベントや祭り等のボランティア募集とかも今回みたいな方法が良いのではないかな。
- ・あと一時間短くして欲しい。このような団体があることを初めて知りました。頼もしく思いました。高崎クイズ導入にとっても良かったです。
- ・長く住んでいるが意外と知らないことや気づきがあった。
- ・高崎のイベントの再確認。全く知らない人と話が出来て良かった。郷土愛が今一つ分かりづらかった。
- ・スタッフの皆様お疲れさまでした。色々知れてとても良かったです。青年会楽しそうで羨ましかったです。
- ・会社以外で人と話をする機会が少ないので参加できて良かったです。
- ・普段思っていることを述べるのができて良かったです。また参加したいと思ったと同時にたくさんの市民に参加してもらいたい。運営の方も親しみが持てて協力的で感謝しています。
- ・勉強になりました。
- ・他人の意見を聞き参考になった。
- ・高崎のセールスポイントを知れた。
- ・自分の住んでいる地域で知らないことが多くて驚いた。
- ・討議毎のグループシャッフルはリフレッシュできて良かった。3討議にして1つに時間をかけたかった。
- ・大変いい機会でしたので、また参加してみたい。但し、結果としては「主催者が求める内容だったのか」と思っています。進め方が悪いとは思いますが、絞った議題で討議した方がよいと思います。高崎クイズは楽しかった。クイズ大会をするのも面白いですね。
- ・高崎クイズ、楽しく高崎を知れた。身近にあることや物、実はよく知らないことがわかった。このような形で自分の住んでいる町を知るきっかけになり、とてもよかった、疲れたけど楽しかったです。ありがとうございました。
- ・高崎クイズ面白かったです。つついメモとってしまいました。
- ・意見を出し合い、お互いを否定せず話しあうのが楽しかったです。
- ・盛沢山でとても充実した一日でした。休憩時間がもっとあるとうれしかった。

- ・自分の知らない高崎を発見でき、素敵なお土産、宝物を持ち帰ることができました。ありがとうございました。
- ・高崎クイズ楽しく参加出来ました。とてもよい企画だと思います。黒沢明の脚本の件は衝撃でした。機会があれば拝読してみたいです。
- ・自分の意見が相手に伝えられ、相手からの意見も聞くことが出来た。また、このような機会は設けた方がよろしいと思います。
- ・討議ごとのグループ分けでたくさんの方とお話できたので良かったです。皆さん積極的に話し盛り上がりしました。
- ・高崎について熱い思いを持った市民・市職員が多くいることを知れて良かった。クイズ等で高崎の知らなかった観光スポット、イベント等を知ることが出来て良かった。討議時間が短く十分にまとめきれないテーマ等があった。討議数を4→3に減らすなどして時間を長く出来ないか。
- ・高崎市の事を知ることができて良かった。
- ・同じ市民に人々が何を考えているのか聞くことができたので大変良かった。
- ・色々な地域、年代の方が参加されていて、自分にはない視点や発想があり、面白かったです。高崎クイズもなかなか興味深かったです。ただ、結局は無難な意見にまとまってしまう傾向がありもったいないと思いました。スタッフとして紹介されなかったけど後ろにいた方々はなんだろうと気になりました。
- ・とてもよかったと思います。
- ・知らない人達に出会うことが少ないので良い経験をしました。
- ・年代も仕事も違う人達に出会うことが少ないので良い経験をしました。
- ・知らないことを知る機会になり非常に良かった。時間配分を少し考えて欲しい。
- ・様々な人々が住んでいる街の発展についていろいろ意見が聞けて良かったです。
- ・高崎市について知らないことが多かったが知る機会となって良かった。
- ・無作為に抽出して参加者が集う形式は良いと思う。消極的な人も参加しやすかった。
- ・この取り組み自体が素晴らしい。市民の声を直接聞く姿勢が素晴らしい。

■改善すべき点とご指摘

- ・送付文書に入口の道順の記載はありましたが立て看板があるとわかりやすかった。押印はアンケート時間に席でまわすと待たなくて良かったと思います。
- ・ニックネーム付きで戸惑っていたので自己紹介をしてからニックネームをつけた方が良い。
- ・もう少し幅広い政策に意見を述べる機会があったら良い。青年会議所が意見や内容を通す感じがする。手控え用に紙数枚が欲しかった。
- ・議題2・3の内容が重複しているので発言する方が気を使ってしまった。議題4は各グループの意見が重複してしまったので、重複しない議題にしてもらったほうが有効的。
- ・一日は長すぎ。長時間だと参加を考えてしまう人もいると思う。もう少し短時間や自由に入退出りできるなどしたらたくさん意見が聞けるのではないのでしょうか。
- ・高崎クイズの回答では地図で場所を示してもらえると参考になる。
- ・「高崎市民が高崎を愛せるためのアクション」的な議題でないと知名度を上げるための討議会と勘違いしてしまうと思う。こういった内容を討議したいのか、前年のものが見てみたい。初めてこういう会に参加出来て、緊張しましたが楽しかったです。高崎をより良い街に。一緒にこれから考えていきたいです。
- ・改善すべき点としては最初に議題に対してどのようなアプローチが必要わかりやすくすると良い。
- ・テーマが漠然としすぎている気がする。もう少し具体的に絞ってからテーマにした方が良いと思います。

■その他ご意見、ご感想

- ・直感の意見を求めているのか、時間に追われている感じがした。いろいろな人といろんな役割をするのは良かったです。
- ・討議中のマイクがうるさくて討議ができなかった。
- ・発表のため議論をすることが大変でした。こうすれば発表が簡単だから意見をまとめていたので本当の意見が言えなかったです。
- ・意見する方向性が、主催者側が思っていることとずれているのではと途中から思った。
- ・席替えが面倒。
- ・スマホや携帯の使用を、こういう場では原則禁止でもいいのでは。
- ・日常生活の問題や、男女共同参画社会を目指してなどといった討議が展開できるのかと、期待していた。
- ・今後もより良い高崎市をお願いします。
- ・家族や会社の人に伝えていきたいと思います。
- ・今後も高崎が未来に向けて発展するように考えていきたい。

第4章 たかさき市民討議会VOICE2017の検証と評価

4-1 検証と評価

(1) 参加者について

住民基本台帳から、18歳から59歳までの市民1200人を無作為に抽出し、参加依頼書を送ったところ、73人の方からお申し込みをいただきました。討議会の円滑な実施を考慮して抽選を行ない55人の承諾を得ることができました。

参加意思返信率は6.1%(1,200名中73名)、例年と比較し高い水準となりました。

また参加申込方法に従来の郵送、FAXの他に、QRコードを設定しました。パソコンやスマホ等で、簡単に申込みができるようになり、返信率の高さにつながったと考えられます。

※参考 2016年 4.9%(1,200名中59名)

2015年 3.4%(1,200名中41名)

2014年 3.9%(1,200名中47名)

当日の参加者については、数人から欠席の連絡があり48人、87%の参加率(55名中48名)となりました。

※参考 2016年 78%(50名中39名)

2015年 68%(50名中34名)

2014年 74%(50名中37名)

参加者の男女別や年代別、地域別の人数は以下の通りです。

(単位：人)

参加者数	48						
男女別	男性	女性					
	21	27					
年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
	0	6	12	17	12	1	0
地域別	高崎	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井
	36	0	1	3	0	0	8

※参加依頼書送付時から討議会当日までに60歳になった方がいます。

男女別を見ると、今回の市民討議会参加者は男性21人(44%)、女性27人(56%)となり、女性の参加者が男性の参加者を6人上回りました。一般的に公募による市民会議に

においては男性の参加者が多いことと比較すると、無作為抽出により参加依頼をしたことでサイレントマジョリティの参加につながる効果があったと見ることができます。

参加者の年代に関して、例年60代以上の参加者が多くなる傾向があり（2016年・53.8%、2015年・43.8%、2014年・63.9%）、直近3年間は20代の参加者が0人という結果でした。今回は例年の課題でもある、若い世代の参加を促すことに注目し、参加対象者を59歳までとしました。この取り組みから、20代の参加が実現し、30代と40代の参加者が全体の60%を占め、幅広い世代の意見を得ることが出来ました。

（２）参加理由について

アンケート結果から「高崎市のまちづくりや計画に自分の意見が反映されるかもしれないから」が103回答中の21回答、全体の20%、「参加対象者を無作為抽出で選んでいるから」は19回答、全体の18%となりました。

以上から、市民は市民討議会のように参加、発言する機会を望んでおり、また取り組み自体を評価する結果が得られました。

「報奨金」については必ずしも主な参加理由とは言えず、制度について見直すきっかけになったと考えられます。

（３）討議内容について

＜討議１『咲かそう たかさき 郷土愛』～高崎にはどんなスポット、文化、歴史がありますか？～＞

情報提供として設けた「高崎クイズ」により、高崎の魅力を再確認してもらうことで、まとめでは「灯台下暗し（高崎には素晴らしいものがたくさんある。知らないことはもったいない）」といった意見が挙がるなど、その効果は得られたと考えます。

また参加者の内、44人（94%）が「気づきがあった」と回答しており、高崎についての情報を全体で共有し、グループ内においても各自が持っている情報の比較や、歴史、文化を伝え合うことが出来たことで、今後のまちづくりを描くきっかけとなり、その目的が果たせたと考えます。

＜討議２『みんなの声で 満開 たかさき』～これから高崎を代表するスポット、文化は何ですか？また、どのようなビジョンが考えられますか？～＞

【討議１】で歴史ある高崎のスポットを話し合うことからつなげ、【討議２】では先人が生み出し守ってきた財産やスポットに着目し、対象を絞ってもらう意図がありましたが、まとめでは広範囲な対象や新しいものを生み出す意見が多く出る事となりました。アンケートでは「パスタにこだわり過ぎた」との意見もあり、【討議２】の情報提供でも歴史や文化に沿ったものを挙げることでより効果が得られたのではないかと考えます。

また参加者の内、33人（70%）が「気づきがあった」と回答しており、高崎の今後のビジョンについて考え討議することから、今ある施設などを活かした「参加型」や「体験型」のアイデアを多く創出することにつながり、その目的が果たせたと考えます。

＜討議3『伝えてみよう。あなたの声で 高崎 咲カス』～【討議2】で決まったビジョンのためには、どのような企画、手法が考えられますか？～＞

高崎の魅力を周知するアイデアのきっかけとして、「キングオブパスタ」の手法を情報提供しましたが、アンケート結果から「情報提供としては良いが、参考にはならない」といった意見もありました。中には「具体例として聞いていたのでこういうアイデアを出せば良いというのがわかった」という意見もあり、一定の効果は得られましたが、アイデア、手法についての説明など補足を行う必要がありました。

また参加者の内、35人（74%）が「気づきがあった」と回答しており、行政へ提案する側として、高崎独自の文化を周知、または新たに創りだすアイデアや、子どもや大人たちが集まり交流できる企画を討議、共有することにより目的が果たせたと考えます。

＜討議4『アクション高崎』～【討議2・3】を踏まえ、市民や個人のアクションにはどのようなものが考えられますか？～＞

参加者の内、28人（60%）が「気づきがあった」と回答しており、市民または個人から高崎を盛り上げていくアクションについて、一定以上のイメージ効果は得られたと考えます。また、11人（23%）は「どちらともいえない」と回答しており、具体的なアイデアを生み出すことに難しさを感じていることから、市民から始まった地域の活動の成功例などを情報提供として行う必要を感じる結果となりました。

＜課題＞

郷土愛を育てるためにどのようなアイデアが考えられるかについて、制限時間の中では深い討議に至らず、具体的なアイデアの抽出まで到達できない部分もあり、また高崎の豊富な歴史や文化を活用した、郷土愛の育成と集客、まちづくりの活性化、すべてが絡む斬新な方法の獲得に欠ける部分がありました。今回は例年から討議テーマを1つ減らした環境で臨みましたが、テーマやルールについて事前説明の不足から参加者を困惑させる場面もありました。

今後はテーマの凝縮、テーマ数の削減、説明への配慮が重要な課題になると考えます。

<情報提供について>

アンケート結果において、【討議１】では「気づきがあった」が４４人、全体の９２％、【討議２】では「とても参考になった」１５人、「参考になった」２５人で全体の８３％、【討議３】では「とても参考になった」７人、「参考になった」２９人と全体の７５％となりました。

参加者が討議するにあたり、情報提供による一定の効果が果たせたと言えますが、【討議２・３】においては情報提供によりパスタの印象が強くなっているのでは、という指摘もありました。簡潔な内容を２例以上挙げることで発想の幅を広げるような工夫を行う必要があったと考えられます。

<討議シートについて>

例年同様、討議の内容は討議シートに集約され、市に報告されることから、より分かりやすく忠実な報告書の作成を目的として、グループごとのまとめ発表を録音し、報告書の精度を高めました。

しかし、抽象的な内容やジャンル分けの難しい意見、様々な観点からの意見など、まとめに難航する箇所もあり、討議前の説明をより丁寧に行う必要がありました。

<小テーマの設定について>

今回は高崎に対する愛情、郷土愛が芽生えるには、どのようなアイデアが考えられるのかについて、「現在と未来」、「提案と発信」という流れを設定しました。討議の結果、高崎市の取り組んできた活動を一層盛り上げ、発信していくために有効な意見が得られたと言えます。

しかしながら参加者の意見から、重複しているのでは、と指摘される部分もあり、新しいものを創造するのか、現在あるものを活用するのかといった、より具体的な設定があれば凝縮された意見の抽出につながったと考えられます。

4-2 中間報告会

(1) 中間報告会の開催

１１月１４日（火）１９：００～２０：３５、高崎市役所１７階１７２会議室にて中間報告会を開催いたしました。参加者へ事前に送付した、市民討議会の内容を整理した中間報告書について確認を行うことが目的となります。また、参加者により市民討議会参加後の意識の変化、市民討議会をより良くするための意見についてグループ討議を行い、発表していただきました。

中間報告会参加者は６名と、市民討議会参加者の１／８にとどまり、中間報告会の日程など参加しやすい環境作りに工夫が必要だったと言えます。今後、中間報告会の進め方等について、改めて検討する必要があります。

グループ討議では、3人一組とし、2グループに分かれて進行いたしました。

なお、中間報告会を欠席された方からも内容確認後のご指摘、ご意見をいただくため、高崎市役所 総務部 企画調整課にて窓口を開設しました。

例年、中間報告会は休日の昼間に開催しておりますが、新しい試みと実際の状況を知るため、今回は平日夜間の開催としました。

(2) 中間報告会でのご意見、ご質問

①ご質問、ご要望など

- ・今年度の特色や変更点は何か。

⇒参加者が高崎について楽しく理解を深めてもらえるよう「高崎クイズ」を導入しました。

参加申し込みのしやすい環境作りのため、QRコードによる申し込みフォームを開設しました。

討議数を例年から1項目減らすことにより、参加者への負担軽減に努めました。

例年、中間報告会開催時に中間報告書を配布していましたが、参加者が内容について事前の確認ができるよう事前配布をしました。

- ・例年より市民討議会参加者が増えた理由は何か。

⇒例年、対象者を18歳～60代以上としていましたが、今回は18歳～50代とし、若い世代にも多く参加依頼書が届けられたことにより幅広い年齢層の獲得につながりました。若い世代も行政の活動に関心と、参加意欲を持っていることがアンケート結果からも読み取れ、結果として参加者数増加となったと考えられます。

- ・【討議1】について、うまくいったところ、いかなかったところはあるか。

⇒「高崎クイズ」については、参加者におおむね楽しんでもらえたようです。しかし、【討議1】で話し合った高崎の魅力や文化をさらに周知、活用し、根付かせるアイデアを集約できるよう進行に配慮し、【討議2】以降に活かす必要を感じました。

- ・テーマと郷土愛がつながりにくく、討議中に郷土愛について考えていなかった。討議前に郷土愛というキーワードを伝えておく良かった。

- ・参加者には郷土愛が無いわけではなく、郷土愛というキーワードを運営側がしっかり伝えられなかったことにも原因があるのでは。

- ・【討議4】について、個人に何が出来るのか、というテーマの討議が難しく感じた。【討議3】までの討議と規模の違いがあったのでは。

- ・4つの討議テーマの表現が抽象的であったため、口頭の補足、説明だけではなく、文章で問いかけるようなテーマとした方が討議しやすかったのではないか。

②【グループ討議】市民討議会に参加して、意識や見方など気づいたこと、変わったこと

〈グループA〉

- ・ イベントに参加した時に、主催者側の方々の顔をよく見るようになった。
- ・ 今回の中間報告会に関してのことになるが、主催している青年会議所や市は、討議会の開催にあたり、しっかりと調整していることに気づいた。
- ・ 伝統に触れようとする人が増えたのでは。
- ・ 主催者スゴイ！！高崎について理解が増えた。

〈グループB〉

- ・ 高崎はすでに色々な取り組みをしていると感じた。
- ・ 以前よりも地域情報誌やタウン誌、広報誌などに目を通すようになった。
- ・ ブレーンストーミングという手法が良かった！
- ・ 幅広い年代の人と話し合うのが楽しかった。
- ・ 高崎の歴史を再確認できた。
- ・ 市民討議会に出た、地名、行事、施設などに注目するようになった。
- ・ 長く住んでいても、意外と自分の土地の魅力を知らない。
- ・ もっと高崎の情報を教えてほしい。
- ・ 高崎の魅力再発見！！

③【グループ討議】市民討議会をより良くするためのご意見

〈グループA〉

- ・ テーマについて曖昧なものが多く、司会者たちの意見も聞いた方が良い。
- ・ 参加者だけの声ではなく、司会者さんたちの声も聞きつつまとめた方が良くなるのでは。主催者側の意見をもっと聞いてみたかった。
- ・ 「参加してよかった！！」の声をPRに添える。
- ・ さらにやわらかい空気になるように（テーブルにお菓子を置くなど）。

〈グループB〉

- ・ 色々な年代の人たちがいる方が良い。時には60代以上の方もまぜる。
- ・ 自由な意見も必要。時には誘導も必要。
- ・ すでに行われている取り組みやイベントを参加者がどこまで認識しているか。知らずに参加することに意味があるのか。そしてどこまで情報提供をするのかが大切。
- ・ 年代別に話し合う討議があっても良いのではないかな。
- ・ 普段の生活では出会うことのなかった人と出会い、話し合えることが素晴らしい。
- ・ 地域別、年代別など、あらゆる人が交流できる場所が良い。
- ・ 難しいと思うが、誘導にならない程度で情報提供をやっていただきたい。

(3) 中間報告会後に行った報告書の修正点

- ①第2章【討議2】グループA～Hの討議シートにおいて、討議中の意見ではない郷土愛の欄は適切でないのでは、というご指摘から郷土愛の欄は削除し、意見のまとめの部分に反映させる修正を行いました。
- ②第2章【討議3】〈討議結果の考察〉において、ディズニーリゾート誘致という意見はエレクトリカルパレードでなく、スペシャルパレードであったとご指摘をいただきました。文言を「マーチングフェスティバルと東京ディズニーリゾート・スペシャルパレードのコラボレーションを」と修正しました。

おわりに

高崎の文化や歴史を振り返り共有することから、高崎の好きなところ、大切にしたいもの、伝えていきたいものについて共に考え、より高崎を好きになる人を増やしたい。そんな思いから、たかさき市民討議会VOICE2017では『あなたの声から たかさき 咲カス』～育てよう、郷土愛の芽～をテーマとして設定いたしました。

当日は、市民自らの意見、発想により、より魅力的な高崎にするためには何が考えられるのか、何をすべきなのかについて活発な討議が行われ、たくさんのアイデア、意見を得ることが出来ました。

しかし、ご参加いただいた皆さんの意見にもあるように、1日数時間の討議では凝縮された意見や、本当に高崎の未来を見据えたアイデアの全てが抽出されたとは言えないのかもしれませんが。もしそうであったとしても重要なことは、今回の体験により興味や関心から知る意欲が高まり、未来に対して明確なビジョンを持ち、新たなムーブメントを生み出す苦悩を知り、先人たちが守り、大切にしてきた財産を新しい世代へ伝える尊さに気づくことにより、市民自ら様々なアクションを続け、声を上げていくことではないでしょうか。

高崎は今後も大きな変化を迎えます。「格物致知」という言葉があるように、物事の本質や道理を求め、知識や教養を高めていくため、私たちも皆さんの声に対して率先して行動する責任を改めて感じました。

この度、ご参加いただいた方々、開催にあたりご協力いただいた方々、皆さんへ心より感謝申し上げます。

たかさき市民討議会VOICE2017実行委員会
事務局長 渡邊 聖也

＜参考資料＞

たかさき市民討議会VOICE2017実行委員会メンバー

実行委員長	富澤 太郎	(高崎青年会議所)
副実行委員長	田島 圭次郎	(高崎青年会議所)
事務局長	渡邊 聖也	(高崎青年会議所)
事務局次長	山崎 隆之	(高崎青年会議所)
事務局次長	中村 剛志	(高崎市役所)
事務局情報提供調整担当	須田 奈保子	(高崎市役所)
事務局運営	牧野 英輔	(高崎青年会議所)
事務局会計	櫻井 怜	(高崎青年会議所)
事務局広報	林 和宏	(高崎青年会議所)
事務局書記	鈴木 剛輔	(高崎青年会議所)
実行委員	村上 文治	(高崎青年会議所)
実行委員	高橋 健太	(高崎青年会議所)
実行委員	武井 竜二	(高崎青年会議所)
実行委員	岡村 雄輝	(高崎青年会議所)
監事	清水 正樹	(高崎青年会議所)

以上 15名

「たかさき市民討議会VOICE2017」の実施に関する協定書

公益社団法人高崎青年会議所（以下「高崎JC」という。）と高崎市（以下「市」という。）は、これまで市政に声を届ける機会の少なかった市民の方からも幅広いご意見をいただき、その成果を今後のまちづくりに活かしていくことを目的に、無作為に抽出された市民がまちの課題を討議する市民ワークショップ「たかさき市民討議会VOICE2017」（以下「市民討議会」という。）を協働して実施するにあたり、次のとおり協定を締結します。

1 協定の総則

本協定は、「市民討議会」の実施及びその手法の効果の検証・評価に関し、高崎JCと市の関係や役割分担、相互協力の内容などを定めるものです。

2 協働に関する原則

高崎JCと市は、協働の精神に基づいて、お互いに次の原則を遵守します。

- (1) お互いが対等なパートナーの関係を保つよう心がけます。
- (2) お互いの立場を理解・尊重し、自由に意見を交換できる関係を作ります。
- (3) お互いの活動を理解し、その主体性・自主性を尊重します。
- (4) 個人情報は「市民討議会」の実施のためにのみ利用し、適切な保持管理を行います。
- (5) 中立性・公平性を保ち、双方の納得がいく形で「市民討議会」を実施します。
- (6) 双方の役割で得た情報は、迅速に共有できるように努めます。
- (7) 「市民討議会」の手法の効果について、ともに検証・評価します。
- (8) 過程や結果、手法の効果などを市民に広く情報公開します。

3 役割と責務

(1) 高崎JCの役割と責務

ア 実行委員会の設置及び運営に関すること

「市民討議会」を円滑に実施するため、「たかさき市民討議会VOICE2017実行委員会」（以下「実行委員会」という。）を設置し、運営にあたります。

イ 広報活動等に関すること

「市民討議会」を広く周知するため、広報活動を行います。

ウ 個人情報の保護に関すること

「市民討議会」を実施する上で知り得た個人情報は、高崎市個人情報保護条例と別紙「個人情報の保護に関する取扱仕様書」に基づいて、適切な管理を行います。

エ 案内状の発送に関すること

対象者への案内文の発送と参加者の取りまとめを行います。

オ 経費の負担に関すること

「市民討議会」に係る経費のうち450,000円を負担します。

(2) 市の役割と責務

ア 実行委員会への参加に関すること

実行委員会に委員及び事務局として職員が参加します。

イ 広報活動等に関すること

「市民討議会」を広く周知するため、広報紙等を活用し、広報活動を行います。

ウ 対象市民のリストの抽出に関すること

住民基本台帳から無作為抽出を行い、抽出した市民への案内文書の送付及び参加者のとりまとめに協力します。

エ 情報提供に関すること

実行委員会に対し、「市民討議会」実施に必要な情報について事前協議を経て情報提供をします。

オ 場所の確保に関すること

市民討議会会場及び開催に必要な会議室等の場所の確保に協力します。

カ 関係団体との調整に関すること

テーマに関する関係市民団体などとの必要な調整に協力します。

キ 報告された内容の検討に関すること

報告書の内容を真摯に検討し、市政に活かすよう努めます。

ク 経費の負担に関すること

「市民討議会」に係る経費のうち350,000円を負担します。

4 協定の有効期限

本協定の有効期限は、協定締結の日から平成29年12月31日までとします。

5 その他

本協定に定めのない事項で、市民討議会を実施する上で必要と認められるものについては、高崎JCと市が協議して定めるものとします。

上記協定の成立を証するため、この協定書2通を作成し、高崎JCの代表者と高崎市長が署名捺印の上、各自その1通を保有するものとします。

平成29年4月12日

公益社団法人 高崎青年会議所 理事長

高崎市長

富澤 太郎

富岡 碩治



「たかさき市民討議会VOICE2017」 実行委員会運営要綱

(設置)

第1条 「たかさき市民討議会VOICE2017」(以下「市民討議会」という。)を円滑に実施するため、たかさき市民討議会VOICE2017実行委員会(以下「実行委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 実行委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 市民討議会の企画・運営に関すること
- (2) 市民討議会の報告書の取りまとめ、提出に関すること

(構成)

第3条 実行委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 高崎青年会議所会員
- (2) 高崎市職員
- (3) 前2号に掲げる者のほか、実行委員会が特に必要と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は平成29年12月31日までとする。

(委員長)

第5条 実行委員会に委員長を置く。

- (1) 委員長は、委員の互選によって選任するものとする。
- (2) 委員長は、実行委員会を総理する。
- (3) 委員長が不在の時は、その任務を代理する者を委員の互選によって選任するものとする。

(会議)

第6条 実行委員会の会議は、実行委員及び事務局員による全体会議とする。

- (1) 全体会議は、委員長が招集し、議長となる。委員長が不在の場合は、委員長に指名されたものを議長とする。
- (2) 全体会議は、第2条に規定する事務のうち、次に掲げる事項について所掌する。
 1. 市民討議会の名称の決定
 2. 実行委員会運営要綱の決定

3. プログラムの決定
4. 市民討議会のPR
5. 無作為抽出による参加者の決定
6. 情報提供者の決定
7. 案内状の発送
8. 市民討議会開催当日の運営
9. 報告書の決定、提出

(3) 全体会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務局)

第7条 実行委員会に事務局を設置し、所在は高崎市高松町35番地1高崎市役所総務部企画調整課内とする。

- (1) 事務局に事務局長を置く。
- (2) 事務局は、第2条に規定する事務のうち、次に掲げる事項について所掌する。
 1. 会計、庶務
 2. 実行委員会のメーリングリストの構築、管理
 3. 各種印刷資料の作成、印刷、配布
 4. 広報及び参加者、傍聴者への対応

(個人情報保護)

第8条 実行委員会は、市民討議会を実施する上で、知り得た情報のうち、プライバシーに関するものなどについては、高崎市個人情報保護条例及び別に定める「個人情報の保護に関する取扱仕様書」に基づいて個人情報の保護を行う。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が実行委員会に諮って定める。

附則

この要綱は、平成29年4月12日から施行する。

第9回たかさき市民討議会

VOICE
2017

あなたの声から たかさき 咲カス
～育てよう、郷土愛の芽～

高崎市を一步前へ進めるため、
あなたの意見を必要としています。
ぜひご参加ください。



日時

9月3日

9:00～17:00
(開場 8:30)

会場

高崎市役所 20階研修室

たかさき市民討議会 VOICE2017とは

参加討議者の無作為選出

無作為選出により選出された 1200 人の市民に案内状を送り、返信をされた方の中から抽選で 50 名を参加者として決定します。

参加討議者の有償制

参加者には報酬として手当を支給します。

専門家による情報提供

討議（話し合い）の前に複数の専門家などから情報を提供します。

参加討議者が討議・意見集約

参加者のグループ討議により意見を選出・集約し、合意形成します。

討議結果（報告書）の提出・公表

討議結果は報告書にまとめ、行政に提出・ホームページなどを通して公表します。

詳細は裏面へ

たかさき市民討議会

たかさき市民討議会は公益社団法人高崎青年会議所と
高崎市が協働で開催しています。

主
催

たかさき市民討議会 VOICE2017 実行委員会 /
公益社団法人高崎青年会議所 / 高崎市

問
合
せ
先

たかさき市民討議会 VOICE2017 実行委員会事務局
〒370-8501 高崎市高松町35番地1 高崎市役所 総務部企画調整課内
TEL: 027-321-1206 FAX: 027-321-1190

第9回たかさき市民討議会

たかさき市民討議会は公益社団法人高崎青年会議所と高崎市が協働で開催しています。

VOICE
2017

討 議
テ マ

あなたの声から たかさき 咲カス
～育てよう、郷土愛の芽～

高崎に住んでいる方の意見を直接聞いて、これからの街づくりをみんなで創造したい。高崎の良いところ、伝えたい文化を再発見し、未来へつなげる発想を共有します。また、討議結果はまとめたのち行政へ提出します。

開催日時

9月3日（日）9:00～17:00（開場 8:30）

会 場

高崎市役所20階研修室

目 的

市民の声をまちづくりに



手順とスケジュール

参加の方

7月28日（金）必着 参加承諾書を記入の上、封筒を利用し投函。（切手不要）
QRコードからの申し込みも可能です。

8月下旬 参加案内の資料をお送りいたします。

9月3日（日） 当日会場にお越しください。

※ FAX までのご返信でも OK です（FAX：027-321-1190）

※ 参加で報酬金 4,000 円をお支払いいたします。

※ 当日の昼食はこちらで用意します。

不参加の方

不参加の場合
返信の必要は
ありません。

参加希望者多数の場合、
抽選とさせていただきます。

Q. 専門知識がないので不安です。

A. 討議（話し合い）の前に、専門家などによりテーマに沿った情報を提供しますので専門知識がなくても問題ありません。専門家ではない、一般市民の意見を求めるのが市民討議会です。

Q. 自由に意見が言えないのでは？

A. 市民討議会では、少人数（5～6 人）のグループに分かれてテーマに沿って討議していただきます。少人数で討議することにより発言の機会が増します。

Q. なぜ参加報酬がもらえるのですか？

A. 市民討議会に参加していただいた方には、参加報酬をお支払いします。報酬を支払うことによって、「仕事」として責任ある発言をしていただきます。

Q. 自分の意見がどのように反映されますか？

A. あなたのご意見は、市民同士で話し合いを行うことで市民討議会の意見として集約されます。同会の意見は、報告書として高崎市に届けられ、市が具体的な政策立案を行う上の参考とします。

たかさき市民討議会開催実績

第1回：平成21年10月3日（土）4日（日）
開催場所：高崎市役所20階研修室
テーマ：語ろう高崎～魅力ある都市を目指して～

第2回：平成22年8月28日（土）29日（日）
開催場所：高崎市役所20階研修室・会議室
テーマ：図書館の底力～知れば知るほど面白い知識の宝庫～

第3回：平成23年9月3日（土）4日（日）
開催場所：群馬音楽センター 第一会議室
テーマ：描き出そう！私たちのまち高崎～想像×創造＝未来像～

第4回：平成24年9月8日（土）9日（日）
開催場所：高崎市役所20階研修室
テーマ：中心市街地活性化を考える～まちなかづくりはみんなが主役～

第5回：平成25年9月7日（土）8日（日）
開催場所：高崎市総合保健センター2階第1会議室
テーマ：考えよう！暮らし続けたい街～つながりから始まるまちづくり～

第6回：平成26年9月20日（土）23日（日）
開催場所：cafe あすなろ
テーマ：未来の中心市街地を自由に描く～まちなかを遊び場に～

第7回：平成27年9月13日（日）
開催場所：cafe あすなろ
テーマ：家族と楽しむ高崎プロジェクト～きっかけは子供から！笑顔あふれるまちづくり～

第8回：平成28年9月4日（日）
開催場所：高崎市役所20階研修室
テーマ：嫌いじゃないでしょ高崎～新発見！わたしはこのまちのココが好き～

たかさき市民討議会

たかさき市民討議会は公益社団法人高崎青年会議所と
高崎市が協働で開催しています。

主 催 たかさき市民討議会 VOICE2017 実行委員会 /
公益社団法人高崎青年会議所 / 高崎市

問合せ先 たかさき市民討議会 VOICE2017 実行委員会事務局
〒370-8501 高崎市高松町35番地1 高崎市役所 総務部企画調整課内
TEL：027-321-1206 FAX：027-321-1190

◆ 過去開催について

- たかさき市民討議会VOICE2009（第一回）
開催日：平成21年10月3日（土）、4日（日）
会 場：高崎市役所20階 研修室・会議室
テーマ：『語ろう高崎 ～魅力ある都市を目指して～』
参加者：27名

- たかさき市民討議会VOICE2010（第二回）
開催日：平成22年8月28日（土）、29日（日）
会 場：高崎市役所20階 研修室・会議室
テーマ：『図書館の底力 ～知れば知るほど面白い知識の宝庫～』
参加者：25名

- たかさき市民討議会VOICE2011（第三回）
開催日：平成23年9月3日（土）、4日（日）
会 場：群馬音楽センター 第一会議室
テーマ：『描き出そう！私たちのまち高崎～想像×創造＝未来像』
参加者：41名

- たかさき市民討議会VOICE2012（第四回）
開催日：平成24年9月8日（土）、9日（日）
会 場：高崎市役所20階 研修室
テーマ：『中心市街地活性化を考える ～まちなかづくりはみんなが主役～』
参加者：32名

- たかさき市民討議会VOICE2013（第五回）
開催日：平成25年9月7日（土）、8日（日）
会 場：高崎市総合保健センター2階 第一会議室
テーマ：『考えよう！暮らし続けたい街～つながりから始まるまちづくり～』
参加者：34名

○ たかさき市民討議会VOICE2014（第六回）

開催日：平成26年9月20日（土）、23日（火）

会場：Cafe あすなろ

テーマ：『未来の中心市街地を自由に描く～まちなかを遊び場に～』

参加者：35名

○ たかさき市民討議会VOICE2015（第七回）

開催日：平成27年9月13日（日）

会場：Cafe あすなろ

テーマ：『家族と楽しむ高崎プロジェクト

～きっかけは子どもから！笑顔あふれるまちづくり～』

参加者：32名

○ たかさき市民討議会VOICE2016（第八回）

開催日：平成28年9月4日（日）

会場：高崎市役所20階 研修室

テーマ：『嫌いじゃないでしょ高崎

～新発見！わたしはこのまちのココが好き～』

参加者：39名